



見

る

砂防を活用した「防災啓発」「地域活性化」

ダイナミックSABO プロジェクト

学

ぶ

体験

する



＜ダイナミックSABOプロジェクトの概要＞

ダイナミックSABOプロジェクトでは、砂防を見て、学んで、体験する資源として活用して、住民等が自分事として「防災啓発」をして、地域や民間事業者が主体となって「地域活性化」していくことを支援していきます。

- 砂防堰堤等は多くが山の中にあり、住民等の目に触れられる機会が少ないために、土砂災害等の自然災害が発生した場合の恐ろしさ、砂防堰堤等の設置目的や役割が、必ずしも効果的に伝えられていない、または正しく理解されていないため、避難の意識、防災啓発につながっていないと思われます。
- 一方で、地域によっては砂防堰堤をはじめとした砂防（SABO）を観光資源・拠点として活用している取り組みがはじまっており、「ダイナミック」で四季のある風光明媚な自然の中に「ダイナミック」な砂防堰堤等の人工構造物がある景色が「ダイナミック」なランドスケープとなり、観光客などに対してリアリティを感じてもらえる新たな機会・視点を創生でき、地域活性化に資することが期待されます。
- このような状況の中、これまでの土砂災害の防止・軽減のための砂防堰堤等のハード対策を着実に進めていくとともに、より多くの住民、観光客などにも、砂防の目的や役割を効果的に伝え、正しく理解していただくために、「ダイナミックSABOプロジェクト」と銘打って、砂防を活用した防災啓発、地域活性化の取り組みを支援していきます。

リアリティをもってつなぐ



地域活性化



防災意識の
自分事化



<ダイナミックSABOプロジェクト支援チーム>

- 「ダイナミックSABOプロジェクト支援チーム」は、国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部が事務局となり、関係都道府県や地方整備局等とともに、取組事例や課題の共有・情報交換を行い、対応案を検討します。
- 実施にあたっては、都道府県、地方整備局等にとどまらず、全国において先駆的に取組を実施している市町村や民間団体等と連携しながら対応します。

市町村・民間団体等

地域のSABOを生かしたい！
防災啓発！ 地域活性化！

相談・提案
など



先行事例の紹介
関係する制度や組織の紹介 など

ダイナミックSABOプロジェクト 支援チーム

事務局：国交省 砂防部

保全課

砂防計画課

都道府県
地方整備局等

砂防管理
支援室

地震・
火山砂防室

市町村
民間団体等

情報、人、取組をつなぐ

取組事例をご紹介！ >>>

【北海道美瑛町】 青い池（美瑛川ブロック堰堤）



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb



世界的に有名な青い池！

<概要>

- 実施主体 美瑛町
- 砂防管理者・事業者
 - ・北海道
 - ・国土交通省 北海道開発局
旭川開発建設部 旭川河川事務所
 - ・美瑛町
- 概要
 - ・美瑛町が実施主体となり、2020（令和2）年から駐車場等の運営実施している。
 - ・観光拠点を結ぶサイクリングロードやサイクルマップを整備し観光客を募る。
 - ・十勝岳火山砂防情報センターを巡る日帰りツアーなどに事業説明等に関して協力している。



平日でもたくさんの観光客が訪れる青い池！



青い池に近接する駐車場の利用状況



インフラツーリズムに職員が協力！

職員による火山等に関する防災関係の説明



各観光拠点と青い池を結ぶサイクリングロード！

サイクリングロード（かわまちづくり）の利用

【北海道美瑛町】 青い池（美瑛川ブロック堰堤） 解説

<役割などの解説>

●青い池 空間利用

- 青い池は美瑛川に整備した砂防堰堤に湛水した河川水が光を反射して青く見えるようになり、海外大手の会社がパソコンの壁紙として利用したことから世界的にも有名になった場所。
- 美瑛町
青い池の空間を包括的、持続的に地域活性化に資する目的で占用し、駐車場、トイレ、階段等を整備。
駐車場の領収書の半券により町内の飲食店等でサービスが利用できるように調整。
- 北海道
砂防指定地管理者として、占用許可の手続きを実施。
（管理、維持、修繕に関する事項を附帯条件として設けている）
- 国（北海道開発局 旭川開発建設部）
青い池の砂防施設としてのPR。
青い池の占用許可について事業実施者として、北海道と協議し同意。

<関連利用>

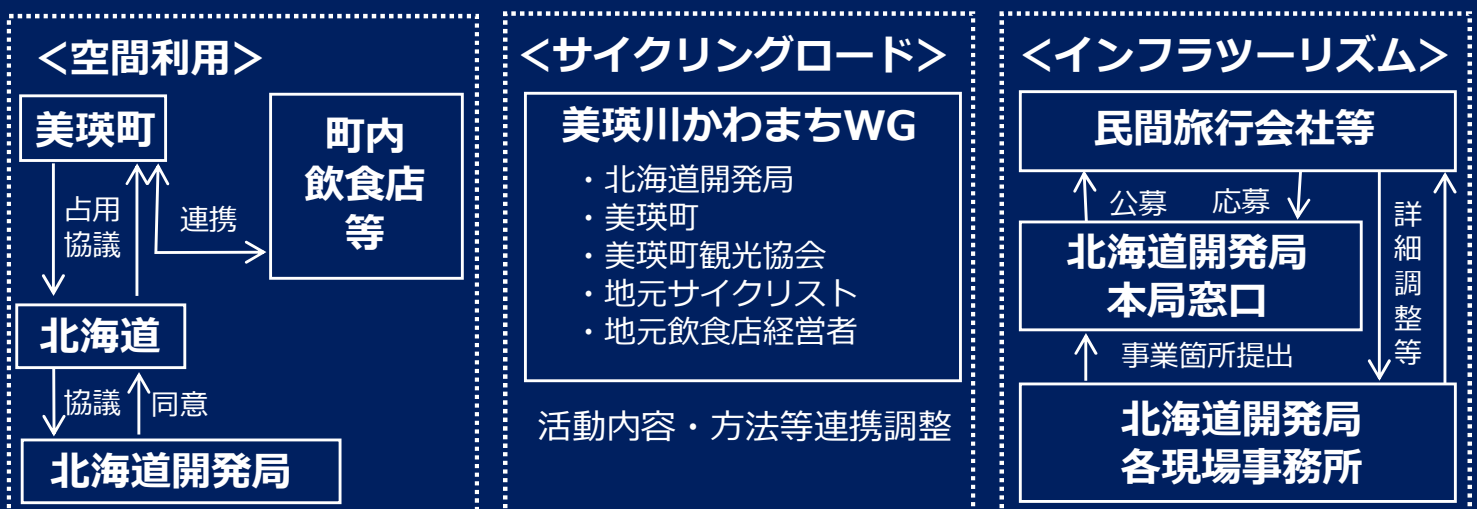
●青い池 サイクリングロード（美瑛川地区かわまちづくり計画とWGの設置）

- 美瑛町
「美瑛川地区かわまちづくり計画」を策定。美瑛川の堤防をサイクリングコースとして利用し、地域観光資源エリア間の連携を目的に、ワーキンググループを設置。
- 民間事業者
サイクリングコースとして必要な整備や地域との連携方法、サイクリングロードのPR方法等の議論に参加。
- 国（北海道開発局 旭川開発建設部）
河川管理者として、堤防天端の舗装や河道管理の目的で樹木の伐採。
サイクリングロードのPRとして、広報事業を活用し、外国人観光客にもわかるように英語表記等のパンフレット等を作成した。
- 青い池 インフラツーリズム
- 民間事業者 応募。
- 国（本局） 事業箇所をリスト化、公募。
- 国（事務所） 民間事業者と詳細調整及び現地説明。

<注目ポイント>

- ・青い池を中心に3つの活動を行い観光資源として活用、駐車場の領収書の半券を利用し町内にも訪れるようにサービス券として利用することで地域活性化を行っている。

<実施体制の概要>



【北海道美瑛町、上富良野町】 「インフラ・ジオツーリズム」プロジェクト



ダイナミックSABOプロジェクトWeb ↑

同じ砂防堰堤なのにこんなに形が違うの？



美瑛川第1号砂防堰堤



富良野川第2号透過型堰堤

火山噴火対応インフラをガイド付きで

<概要>

- ツアー実施主体
 - ・ 十勝岳ジオパーク推進協議会
 - ・ 美瑛町観光協会
- 砂防管理者・事業者
 - ・ 北海道
(上川総合振興局旭川建設管理部)
 - ・ 国土交通省北海道開発局
(旭川開発建設部旭川河川事務所)
- 概要
 - ・ 美瑛町と上富良野町ではオーバーツーリズムが顕在化。
 - ・ 問題解決と併せて、滞在型観光・稼ぐ観光に資するため、令和5年のインフラツーリズム魅力増進プロジェクトのモデル地区への選定を機に、日本初となる「インフラ・ジオツーリズム」の実現に向けた取組を開始。
 - ・ 令和7年6月から「美瑛コース」「上富良野コース」の有料ガイド付きツアーをスタート。



十勝岳望岳台・防災シェルター



白ひげの滝

青い池の秘密？



5 ガイドが十勝岳とインフラの関係を解説

➤インフラ・ジオツーリズム

普段触れることのできないインフラの内部や工事風景などを見学する「インフラツーリズム」と、地質や地形への理解を通じて地域の自然・文化資源の理解や保護・保全につなげる「ジオツーリズム」を組み合わせた「新しい」ツアーの形です。

【北海道美瑛町、上富良野町】 「インフラ・ジオツーリズム」プロジェクト 解説

<役割などの解説>

●インフラ・ジオツーリズム

これからの観光のあり方の一つとして、地域の資源を学んだり体験していただくものが主流になると考えられます。そこで考案されたのが、普段見ることのできないインフラ施設を体験し、防災意識の啓発にもつながる「インフラツーリズム」と、地形や地質への理解を通じて地域の自然・文化資源の理解や保護・保全につなげる「ジオツーリズム」を組み合わせた「新しい」形の「インフラ・ジオツーリズム」です。

○美瑛町、上富良野町

避難施設（望岳台シェルター）の整備・維持管理、関係機関との調整・各種手続き等、青い池の空間を包括的、持続的に地域活性化に資する目的で占用し、駐車場、トイレ、階段等を整備

○十勝岳ジオパーク推進協議会、美瑛町観光協会

ツアー内容の企画整理、ガイドの育成、ツアーの販売、ガイドによるツアー実施

○北海道

砂防施設整備、管理（砂防指定地管理者としての各種手続き等含む）

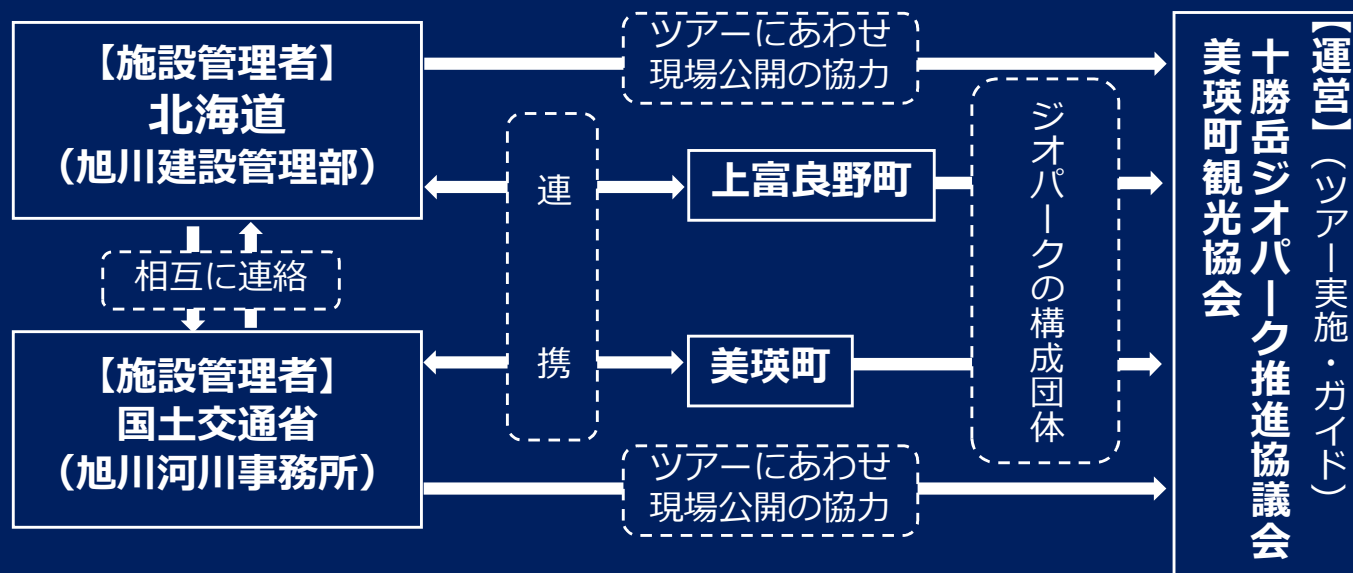
○国（国土交通省総合政策局、北海道開発局、旭川開発建設部、旭川河川事務所）

学識者の招聘、ガイド教本作成等の支援、関係機関調整、砂防施設整備・工事中管理、十勝岳火山砂防情報センターの展示改修等

<注目ポイント>

- ・令和7年6月からガイド付きの「インフラ・ジオツアー」がスタート
- ・本インフラ・ジオツアーは、十勝岳を核とした地域の成り立ちと現在、そして将来を考える機会を提供
- ・コースは美瑛コースと上富良野コースの2つ
- ・美瑛町、上富良野町の2地域それぞれの特徴ある砂防堰堤を巡るツアーが楽しめる

<実施体制の概要>



【北海道帯広市】 トッタベツラフティングツアー



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb



日高山脈の残雪を望む雄大な景観の中での川下り



団体ツアー

川の防災・安全教育



川から砂防施設を間近に観察できる！



雪解けシーズンの豊富な清流



床固工で飛び込み



オートキャンプ場
＜管理棟・自然観察体験施設＞

キャンプ場から、周辺の砂防施設沿いを散策

戸蔦別川第6号床固工の遊歩道

＜概要＞

- 実施主体 アウトドアガレッジ十勝
- 砂防管理者・事業者
 - ・国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部
 - ・帯広市
 - ・スノーピーク
- 概要

戸蔦別川に隣接する帯広市のオートキャンプ場（指定管理者：スノーピーク）にて、民間事業者と自治体が連携した戸蔦別川を下る（床固め工群の区間内）春限定のラフティングツアーを実装している。



【北海道帯広市】 トッタベツラフティングツアー 解説

<役割などの解説>

■戸蔦別川床固工群

川の蛇行を抑えて川岸の侵食を防ぐとともに、川の勾配を緩くして水や土砂移動の勢いを弱める効果を有する床固工を連続して設置しています。これによって、広い範囲にわたって流れが安定することにより、川のアクティビティに適した河川環境が作り出されています。

●アウトドアガレージ十勝

- ・床固工群区間を活かしたコース設計／事前の下見・危険箇所確認
- ・水位・天候に応じた催行判断、当日の運行管理
- ・安全管理（装備配布・着用確認、事前レクチャー、レスキュー体制、保険加入）
- ・ガイド解説（戸蔦別川の自然・地形、砂防施設の役割と見どころ等）

●スノーピーク

- ・帯広市の指定管理者としてポロシリ自然公園（オートキャンプ場含む）の運営・維持管理
- ・集合・受付、駐車場・トイレ等の受入基盤の提供／利用者導線の整理
- ・キャンプ×川アクティビティの連携（滞在価値向上、周辺観光への波及）

●帯広市

- ・指定管理者制度の運用／施設利用ルール・受入条件の整理

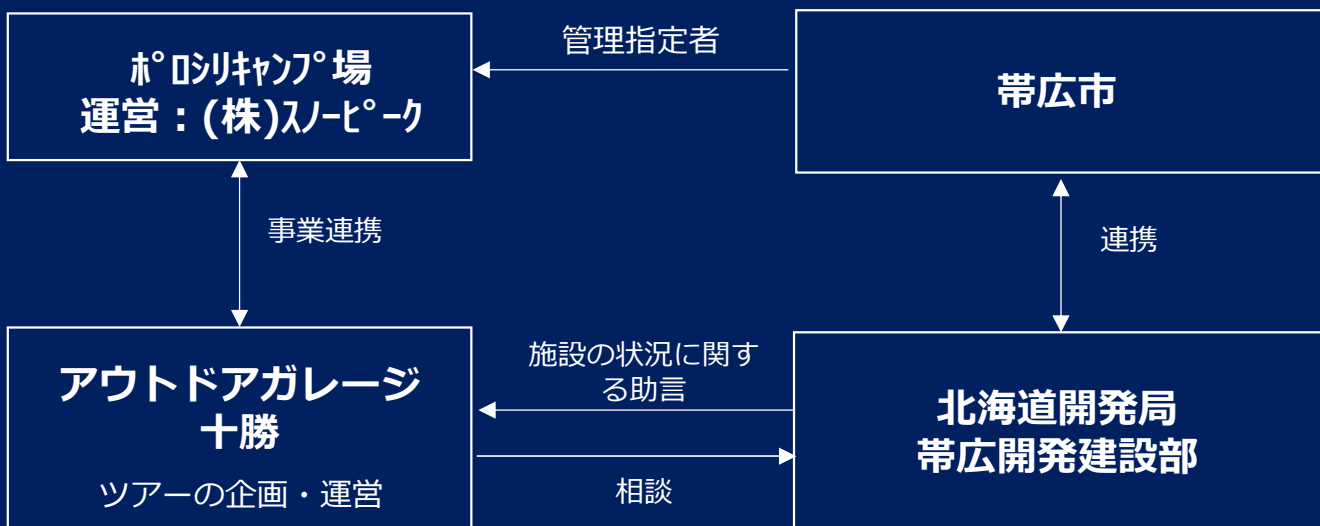
●帯広開発建設部

- ・砂防施設（床固工群等）の整備背景・機能の情報提供／現地解説への協力
- ・河川・施設利用上の留意事項の共有（立入制限、工事情報、増水時の注意等）
- ・安全確保に向けた助言と関係者調整（連絡体制・実施時期の調整等）

<注目ポイント>

- 日高山脈を望む景観とクリアな清流で、写真・動画映え／自然観察にも最適。
- 床固工群がつくる段々の流れで、瀬と穏やかな区間が連続しており、初心者も参加しやすい。
- 砂防施設の役割（河床安定・土砂移動の調整等）を“川の上から”体感できる。
- キャンプ場滞在と組み合わせ、周辺施設・地域の周遊促進にも寄与

<実施体制の概要>



【秋田県仙北市】ボルダリングウォール

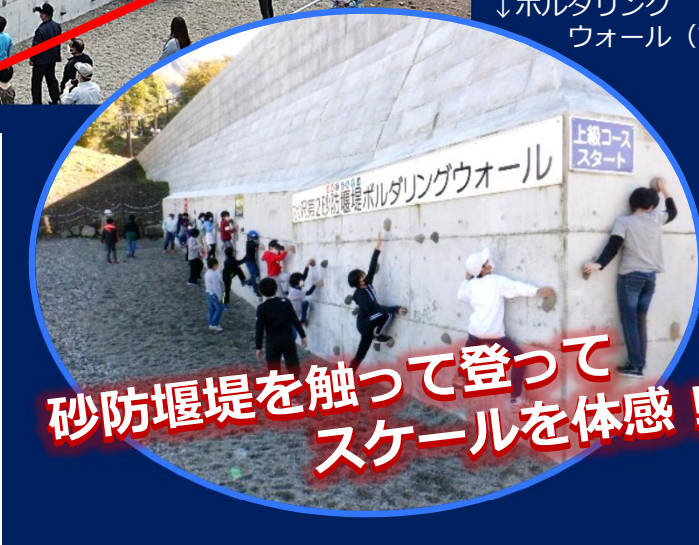


ダイナミックSABO
プロジェクトWeb



仙北市役所Web

↓ボルダリング
ウォール（市）



<概要>

●実施主体 仙北市

●砂防管理者・事業者

- ・秋田県
- ・国土交通省 湯沢河川国道事務所

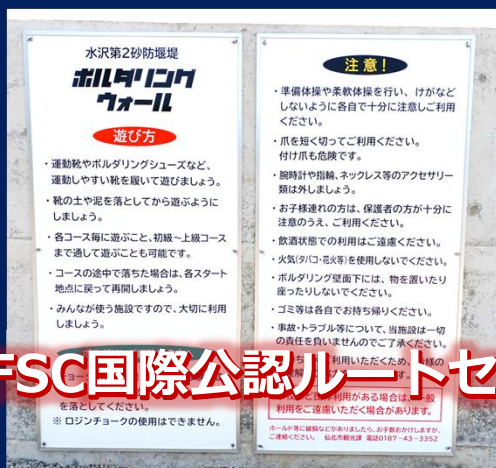
●概要

- ・観光地である当地域ではスキー場のグリーンシーズン活用を進めており、隣接する砂防堰堤も観光資源の一つとして活用。

- ・地元、仙北市、国交省、クライミング専門家等で検討会を実施し、水沢第2砂防堰堤の壁面をボルダリングとして活用することを決定、ボルダリングウォールは仙北市で管理。

●参考URL

https://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/spot/03_mizusawa_bouldering.html



案内看板（市）



IFSC国際公認ルートセッターによる本格コースで火山砂防施設を身近に！

スキー場のグリーン・シーズン・アクティビティ

【秋田県仙北市】ボルダリングウォール 解説

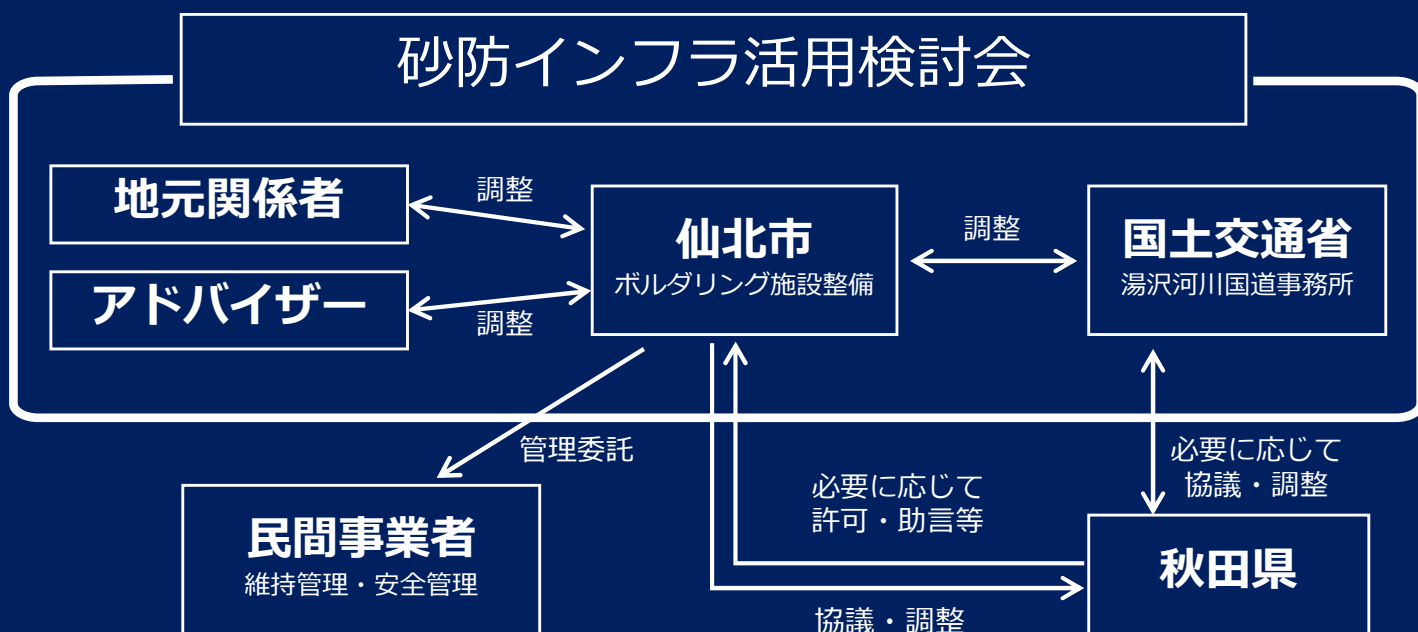
<役割などの解説>

- 砂防インフラ活用検討会
 - ・インフラを活用した観光支援に取り組むため、仙北市（観光文化スポーツ部、建設部、田沢湖市民センター）、地元関係者（鶴の湯温泉、田沢湖・角館観光協会田沢湖支部、田沢湖高原リフト（株））、国交省にて構成。
 - ・アドバイザーとして国際スポーツクライミング連盟公認ルートセッターの東氏を招聘。
 - ・活用・連携内容、活用にあたっての役割分担などを議論。
https://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/21_komagatake/08-infrakentoukai.html
- 仙北市
 - ・ボルダリングウォールの整備・運営主体として、ボルダリングホールド・案内看板の整備、維持管理、安全管理を実施。
 - ・砂防指定地内行為・占用許可を砂防指定地管理者から取得。
 - ・利活用の協定を砂防堰堤事業者（国交省）と締結。
- 民間事業者
 - ・仙北市の委託により、ボルダリングウォールの維持管理、安全管理を実施。
- 秋田県
 - ・砂防指定地管理者として、砂防指定地内の行為制限及び占用等について許可・助言等。
- 国土交通省（湯沢河川国道事務所）
 - ・砂防工事の事業者として、砂防堰堤整備を実施。

<注目ポイント>

- ・当地域は周辺に温泉が点在し、年間を通じて県内外から観光客が訪れる。グリーンシーズンのスキー場にて、隣接する砂防堰堤の有効活用したボルダリングウォール、周辺のe-バイク、展望台、ハイキング等により、豊富なアクティビティを提供。
- ・砂防堰堤の活用にあたり、砂防インフラ活用検討会にて、関係者間の役割分担を調整。
- ・国際公認ルートセッターにより、初級から上級まで本格コースを用意。
- ・令和4年5月21日にオープン。地元小中学生の校外学習やスキー場管理者主催の宿泊体験など、延べ32回の団体利用で約1,300人が利用（個人利用は除く_R4.5~R5.9）。

<実施体制の概要>



【新潟県妙高市】 万内川砂防公園サマーフェスティバル



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb

<概要>

- 実施主体 万内川砂防公園サマーフェスティバル実行委員会
- 砂防管理者・事業者 新潟県
- 概要
 - ・地元町内会、ボランティア団体、自治体、民間事業者からなる実行委員会が主体となって2004年から毎年8月に開催。
 - ・有形登録文化財に指定されている石積堰堤群の歴史や周辺の豊かな自然を紹介するため、文化財巡りツアーや砂防クイズ、ニジマスつかみ取り体験などのイベントを実施している。



地元住民やボランティアと協力して行う
夏の一大イベント！



砂防の歴史を学ぶ「文化財巡りツアー」

万内川砂防公園と登録有形文化財

万内川砂防公園は、万内川の砂防施設を紹介し保存活用することを目的として、新潟県妙高砂防事務所が1989年(平成元年)より整備を始めました。公園内には周辺の自然や清流を活かした親水広場、砂防堰堤群と周りの山々の眺めが素晴らしい東屋、イベント等に利用できる多目的広場などがあり、ゴールデンウィークや夏休みには多くの人々に賑わっています。

1902年(明治35年)の粟立山の崩壊をきっかけとした万内川の氾濫により作られた石積堰堤群は、隙間のない精巧さと自然との調和、そして100年以上も土砂の流出を抑え続けていることが認められ、2003年(平成15年)に文部科学省の登録有形文化財に登録されました。

- ① 現在地から200m 景色がばらばらです
- ② 現在地から300m 1号入水門が見えます
- ③ 現在地から1000m 平野側も山側も眺めが広がります
- ④ 現在地から300m 1号入水門が見えます
- ⑤ 現在地から800m 橋の上からも見えます
- ⑥ 現在地から300m 1号入水門が見えます

上流側の入水門も見えます

西野谷川水も文化財です

文化財に触れることができます

登録有形文化財指定
万内川砂防公園
文化財巡りツアー
登録有形文化財指定
万内川砂防公園
文化財巡りツアー

【新潟県妙高市】

万内川砂防公園サマーフェスティバル 解説

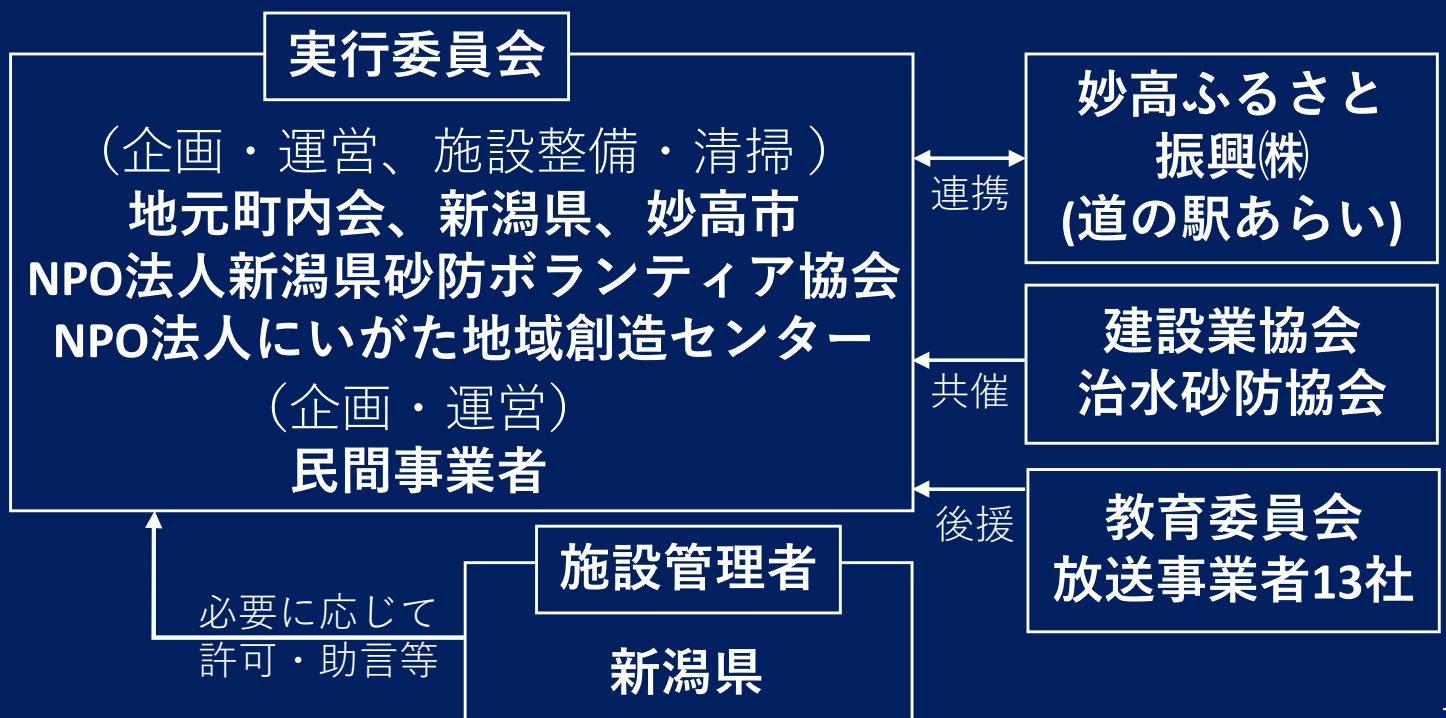
<役割などの解説>

- 地元町内会
 - ・ イベント実施に向けた事前準備として、砂防公園や登録有形文化財周辺の清掃・草刈りを実施。
 - ・ イベント当日は屋台運営や駐車場への誘導を担当。
- NPO法人（新潟県砂防ボランティア協会、にいがた地域創造センター）
 - ・ イベント実施に向けた事前準備として、砂防公園や登録有形文化財周辺の清掃・草刈りを実施。また、「道の駅あらい」を運営する妙高ふるさと振興(株)と連携・協力し、イベント実施前月に「道の駅あらい」にて、砂防事業に関するパネル展示やイベントPRなどの啓発活動を実施。
 - ・ イベント当日は、竹とんぼや笹船流しなどの昔遊びを通して、万内川周辺の自然や人々の暮らしを感じてもらい、その中で砂防施設の役割や歴史への理解を深めてもらう「昔遊びゲーム」を実施。
- 新潟県
 - ・ 実行委員会の運営管理を担当。
 - ・ イベント実施に向けた事前準備として、砂防公園内の河床整正、砂防公園や登録有形文化財周辺の清掃・草刈り、駐車場の整備を実施。
 - ・ イベント当日は、施設管理者として来場者に砂防公園や登録有形文化財の歴史を深く理解してもらうため、文化財めぐりツアーや砂防クイズを実施。
- 妙高市
 - ・ イベント実施に向けた事前準備として、砂防公園内の遊歩道整備を実施
 - ・ イベント当日は、万内川の自然に親しんでもらうため、ニジマスつかみ取り体験を実施。
- 民間事業者
 - ・ イベント当日は、屋台の出店やニジマスのつかみ取り体験を他関係者と共同で実施するとともに、建設業全般のPRをするための建設重機の展示を実施。

<注目ポイント>

- 万内川サマーフェスティバルは、来場者に砂防施設に親しんでもらうだけでなく、ツアーやクイズ等を通じて、過去の災害や砂防施設が整備されるまでの歴史、さらに砂防施設の果たす役割やその重要性について理解を深めてもらうことも目的としている。

<実施体制の概要>



【富山県富山市・立山町】 立山カルデラ砂防体験学習会



大規模崩壊、砂防事業の効果を間近で見る！



富山県
立山カルデラ
砂防博物館Web



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb

←六九谷展望台
からの鳶崩れ

↓立山温泉の橋
とトロッコ

<概要>

- イベント主催 富山県
(公財)立山カルデラ砂防博物館
- 施設管理者・事業実施協力
国土交通省 立山砂防事務所
- 旅行企画・実施 民間事業者
- 概要
 - ・富山県と(公財)立山カルデラ砂防博物館が実施主体となり、博物館が開館した、1998(平成10)年から実施している。
 - ・立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)に乗って、立山カルデラと砂防堰堤などの砂防関係施設を巡るツアーを主催し、実施している。
- 参考URL
<https://www.pref.toyama.jp/1505/hakubutsukan/2023taikentorokko2.html>



工事専用軌道(トロッコ)に乗って、砂防事業の困難さを体感！



**国の重要文化財や、石積みによる
歴史的で空間美のある砂防堰堤！**

西ノ谷堰堤



泥谷砂防堰堤

【富山県富山市・立山町】 立山カルデラ砂防体験学習会 解説

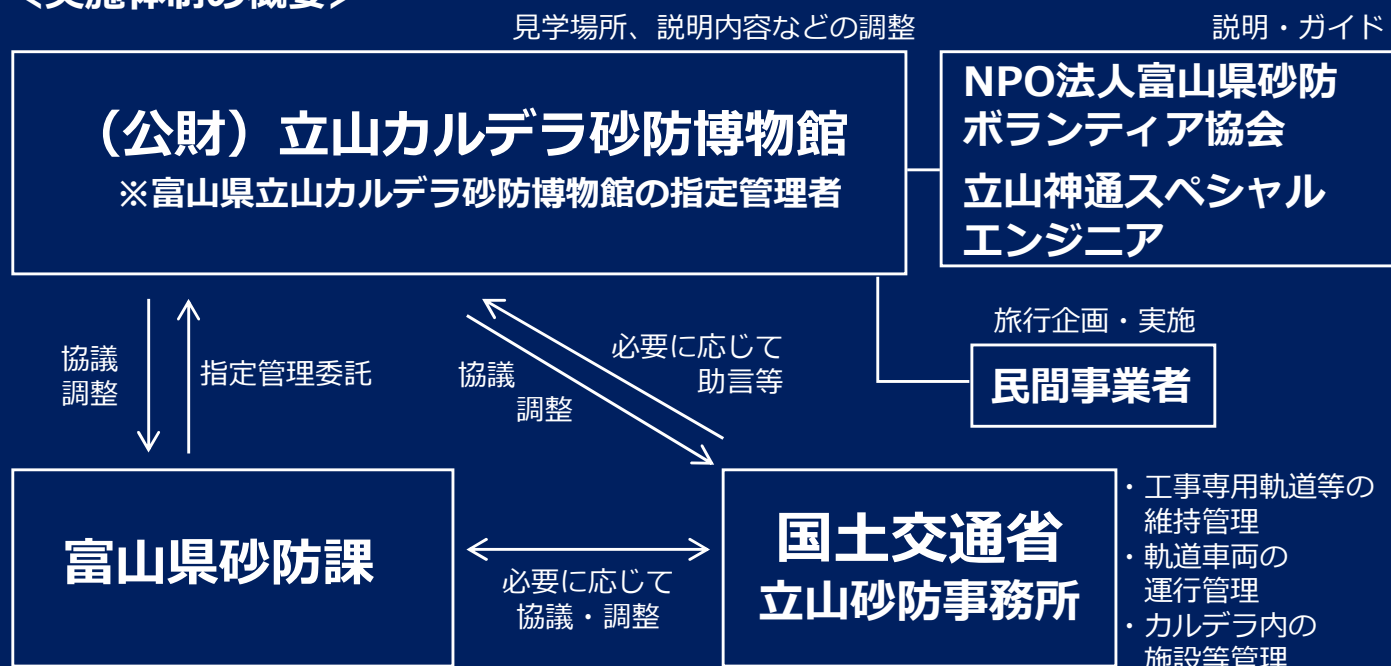
<役割などの解説>

- (公財)立山カルデラ砂防博物館 (イベント主催、指定管理者)
 - ・(公財)立山カルデラ砂防博物館は、富山県立山カルデラ砂防博物館の指定管理者である。
 - ・砂防博物館は、立山の自然及び火山活動とその後の侵食によってつくられた「立山カルデラ」や、富山平野を土砂災害から守るために100余年にわたり続けられている砂防事業を、広く一般の方に知っていただくための役割がある。
 - ・また、「立山カルデラ」を博物館にとっての野外ミュージアムと位置付けしており、富山県と共に、立山カルデラ砂防体験学習会のイベント主催者となっている。
 - ・各箇所の説明・ガイドは、博物館職員、NPO法人富山県砂防ボランティア協会(元県職員)及び立山・神通砂防スペシャルエンジニア(元国土交通省職員)が中心となり実施している。
- 民間事業者 (旅行企画・実施、バス運行等)
 - ・砂防博物館から、旅行企画・実施及びバスの運行業務の委託契約を受け、運営に参画している。
- 国土交通省立山砂防事務所 (施設管理者・事業実施協力)
 - ・事前相談を含めて、見学の可否、見学にあたっての留意事項等について、協議する。
 - ・工事専用軌道であるトロッコに参加者を乗せて運行を行っており、トロッココースの催行に際して、職員を同行させている。

<注目ポイント>

- ・ツアーでは、立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)を使用し、常願寺川沿いの急峻な山道を8か所38段のスイッチバック、12のトンネル、18の橋を渡り、約18kmを移動し、砂防施設、立山カルデラの壮大さを間近で見ることができる。
- ・また、トロッココースの他に、バスコースも実施しており、年間であわせて1,500名程度の参加者枠を設けている。(※コロナ禍以前)
- ・国重要文化財として指定されている「常願寺川砂防施設」である白岩堰堤砂防施設(平成21年指定)、本宮堰堤、泥谷堰堤(平成29年に追加指定)を実際に、現地で見ることができる。
- ・「日経トレンディ」2023年7月号「死ぬまでに行きたいインフラランキング」第3位。

<実施体制の概要>



【石川県白山市】白山手取川ジオツアー



**石川県指定天然記念物を
間近で体感！**



白峰観光協会
web



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb

←「百万貫の岩」の見学

＜百万貫の岩とは＞

昭和9年の大洪水で土石流によって流れてきた大岩。未曾有の大災害を後世に伝える資料として、平成13年12月25日に石川県指定天然記念物に指定された。

＜概要＞

- 実施主体
白峰観光協会（まつり主催）
白峰まちづくり協議会（ジオツアー企画・運営）
- 施設管理者・事業実施者
国土交通省 金沢河川国道事務所
- 概要
・白山手取川ジオツアーは白峰まちづくり協議会が主体となり、2023年（令和5年）に白山手取川ユネスコ世界ジオパーク認定を機に開始された。
・白峰観光協会が主催する毎年5月に行われる「白峰若葉まつり」および11月に行われる「白山白峰温泉まつり」内のイベントの一環として行われている。
- 参考URL <https://shiramine.info/index.html>



職員と白山砂防特派員による解説



白山砂防科学館内の見学



白山白峰温泉まつり



まつり会場内の事務所展示ブース



3Dシアターによる解説

【石川県白山市】白山手取川ジオツアー 解説

<役割などの解説>

- 白峰観光協会
 - ・ 「白峰若葉まつり」および「白山白峰温泉まつり」を主催する。
- 白峰まちづくり協議会
 - ・ 白峰観光協会が主催する上記イベントの中で、ジオツアーの企画・運営やバスの手配を行っている。
 - ・ ツアーは20名程度が乗車可能なマイクロバスを使用している。
- 金沢河川国道事務所
 - ・ ジオツアーの内容についての提案や案内について協議する。
 - ・ 白山砂防特派員による広報活動の総合的なマネジメントを行う。
 - ・ 白山砂防特派員と連携し、施設説明等ツアーの運営を行う。
 - ・ 解説用の資料等の作成を行う。
- 白山砂防特派員
 - ・ ジオツアー中の解説など、砂防や土砂災害に関する広報活動を行う。

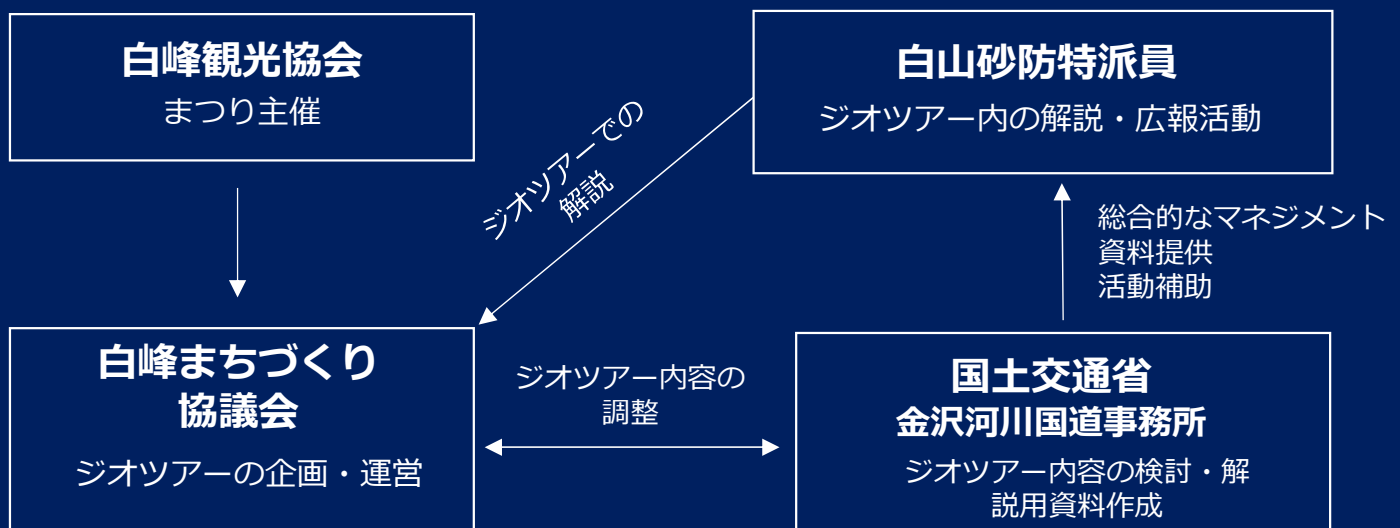
白山砂防特派員とは

- ・ 一般の方の目線から白山砂防事業を見て、聞いて、考えていただき、そこで得られた知識を広く情報発信するという目的で平成15年(2003年)に設立
- ・ 応募いただいた一般の方に委嘱して活動いただいている

<注目ポイント>

- ・ 2023年に白山手取川がユネスコ世界ジオパーク認定され、自然豊かな白山手取川に注目が集まる中、ジオパークを体験できるツアーとして開始。
- ・ ツアーでは、白山砂防科学館（国交省）を見学し、砂防施設や土砂災害や砂防事業に対する理解や関心を深めることができる。
- ・ また、過去に起こった大災害の象徴でもある百万貫の岩が、見学ツアーに組み込まれており、暴れ川の異名を持つ手取川の怖さを間近に感じることができる。
- ・ 今後は砂防堰堤などの施設見学を含め、ツアー内容を検討していく。

<実施体制の概要>



【長野県小谷村】おたりの砂防ダムツアー



小谷村観光
連盟Web



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb

←里見2号砂防堰堤

普段は近づくことができない
砂防堰堤を間近で体感！

↓ 葛葉山腹工
と床固工



過去災害、
地形の成り立ちを
しっかり説明！

<概要>

- 実施主体 一般社団法人 小谷村観光連盟
- 施設管理者・事業実施者
 - ・国土交通省 松本砂防事務所
 - ・長野県 姫川砂防事務所
- 概要
 - ・小谷村観光連盟が実施主体となり、2012（平成24）年から実施している。
 - ・砂防堰堤などの砂防関係施設のみを巡るツアーなどを企画・運営している。
 - ・開催にあたっては、現地見学における留意事項などを、施設管理者・事業実施者である国交省、県と事前に協議・調整している。
- 参考URL <https://info-otari.jp/tour/>



コーディネータとガイドの説明が
おもしろくて、分かりやすい！

コーディネータによる地形変遷の説明



ガイドによる砂防堰堤の説明

【長野県小谷村】おたりの砂防ダムツアー 解説

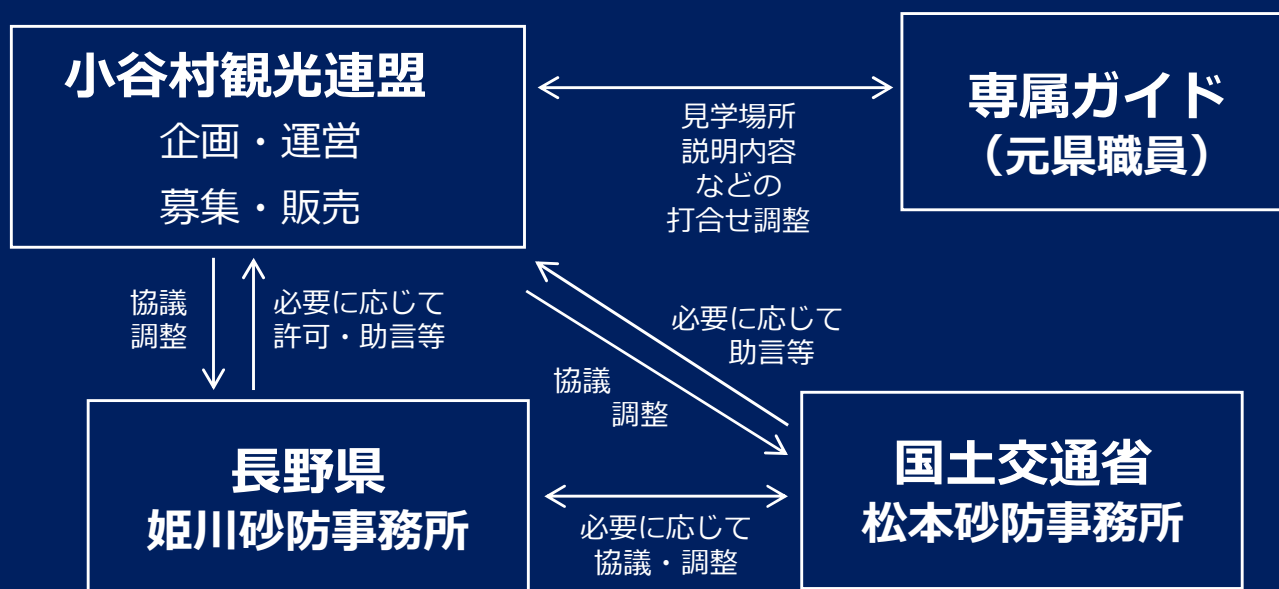
<役割などの解説>

- 一般社団法人小谷村観光連盟
 - ・旅行業（第二種旅行業）の資格を有しており、ツアーのコーディネータとして企画、販売、運営までを実施している。
 - ・企画段階においては、巡る砂防堰堤等の施設、及びそのルートを検討し、関係する砂防施設管理者・事業実施者とツアーの行程や見学にあたっての留意事項等について、確認し、必要な調整等を行い、見学ルート、説明内容等を決定する。
 - ・各箇所の説明ポイント（施設の概要だけでなく、地形の成り立ち、過去の災害などの歴史、経緯等）をコーディネータとガイドにて入念な打合せ及び下見を数回実施する。
 - ・ガイドは元県職員で長野県砂防ボランティアの方が対応している。
 - ・未舗装路・狭小区間などの道路事情については、事前にバス会社と入念な下見を行い、実際に走行可能であるか、悪天候の場合はどうするのか等を決定している。なお、現場条件等から20名程度の乗車が可能なマイクロバスを活用している。
 - ・いずれの打合せ、調整においても、見学者の安全管理について特に留意している。
 - ・見学する施設、ルートが確定した段階で、主にインターネット（SNS）を活用して、募集し、販売している。
 - ・当日の運営では、観光連盟が主体的に対応しており、説明や質疑応答はコーディネータとガイドにより対応している。
 - ・ツアー開始時に、見学における安全管理など留意事項を説明している。
- 姫川砂防事務所、松本砂防事務所（施設管理者・事業実施者）
 - ・事前相談を含めて、見学の可否、見学にあたっての留意事項等について、協議する。
 - ・説明用の工事図面、パンフレット等の提供可能な資料を提供する。
 - ・施設管理者、事業実施者は必要に応じて同行している。

<注目ポイント>

- ・ツアーでは、砂防堰堤の概要を説明するだけでなく、過去の災害や地形の成り立ちにはじまり、砂防堰堤の特徴、工事における苦労話など、日頃なかなか聞くことができない話を聞くことができる。
- ・そのためにも、行程の検討にあたっては、過去の気づき等を踏まえた見直し、改善を常に繰り返し、常に新しい内容が含まれることからリピーターも多い。
- ・令和5年には、『「新」おたりの砂防ダムツアー』『おたりの直轄砂防めぐり』など、新しい企画も打ち出し、開催されている。

<実施体制の概要>



【岐阜県飛騨市・高山市】飛騨の砂守ツアー

防災意識啓発と観光振興のマッチング
普段見ることのできない砂守の偉業をめぐる



飛騨の砂守ツアー「ジオコース」



砂防施設見学（白谷砂防堰堤群）



土石流の仕組み等を模型実験で体感



砂防施設見学（地獄平砂防堰堤）



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb

飛騨の砂守ツアー「奥飛騨SABOめぐり」



砂防施設見学（高田洞砂防堰堤）



砂防施設見学（日影第1号砂防堰堤）



砂防施設見学（新穂高溪流保全工）

<概要>

- 企画・運営：飛騨の砂守ツアー準備委員会（地元関係者・民間企業等）
- 施設管理者・事業実施者：飛騨市、高山市、岐阜県 古川土木事務所
国土交通省 神通川水系砂防事務所

●概要

- 奥飛騨は急峻な北アルプスの山々、活火山焼岳を抱え、多雨多雪の条件も相まって土砂災害リスクの高い地域です。一方で、全国的にも有名な温泉郷である奥飛騨温泉郷（高山市）は観光業の盛んな地域でもあります。
- 飛騨の砂守ツアーは、砂防と観光振興のマッチングを図り、防災意識の向上を目的として実施しているものです。実施にあたっては、観光や地域振興に取組む地元NPOや民間企業などと行政（国・県・市）が協働しています。なお、過年度実施した参加者アンケートの分析により「砂防堰堤」に限定したツアー化の根強い要望があったため、「奥飛騨SABOめぐり」を追加試行し、好評をいただいています。



飛騨の砂守ツアー
WEB

【岐阜県飛騨市・高山市】飛騨の砂守ツアー 解説

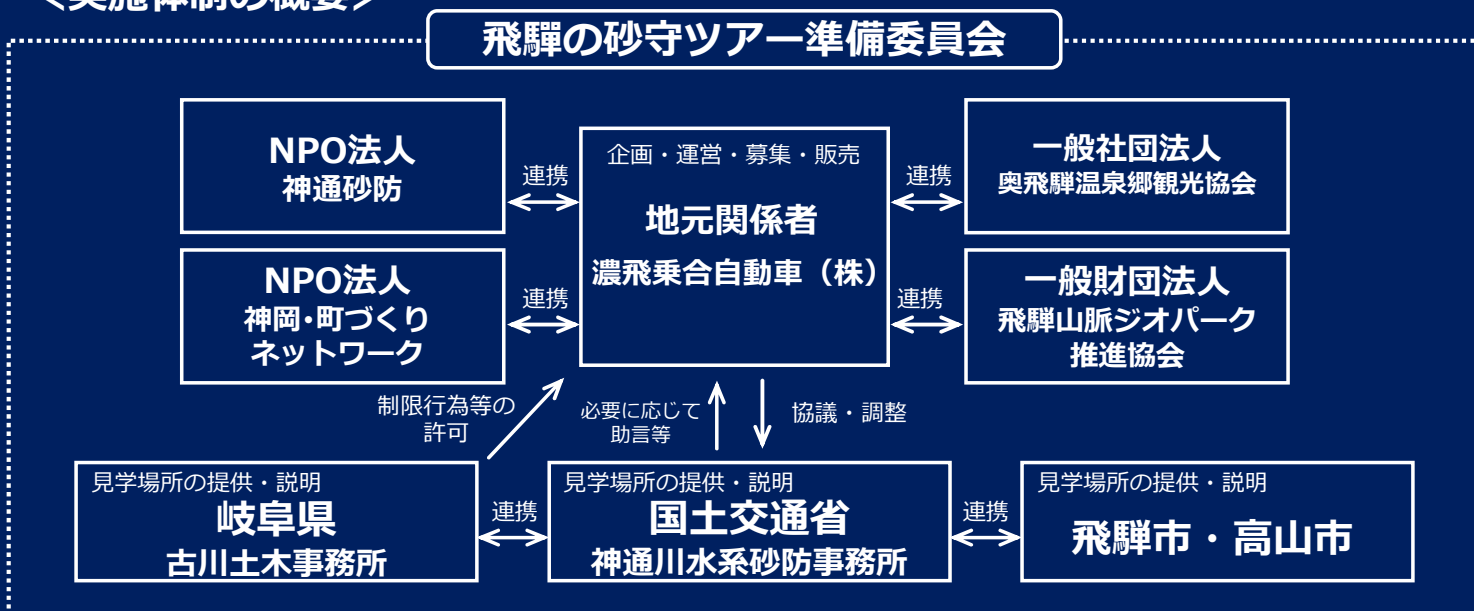
<役割などの解説>

- 飛騨の砂守ツアー準備委員会（企画運営協力）
 - ・国土交通省 神通川水系砂防事務所、岐阜県古川土木事務所、飛騨市、高山市、NPO神通砂防、NPO神岡・町づくりネットワーク、（一財）飛騨山脈ジオパーク推進協会、神岡鉱業（株）、神岡商工会議所、（一社）奥飛騨温泉郷観光協会、奥飛観光開発（株）、濃飛乗合自動車（株）
- 濃飛乗合自動車（株）（旅行販売）
 - ・旅行業（第二種旅行業）の資格を有しており、ツアーのコーディネーターとして企画、販売、運営を実施している。
- 神通川水系砂防事務所、岐阜県古川土木事務所、飛騨市・高山市（施設管理者・砂防指定地管理者・事業者）
 - ・砂防指定地管理者として、砂防指定地内の行為制限及び占用等について許可・助言等。
 - ・見学の可否、見学にあたっての留意事項等について検討する。
 - ・説明用のしおり等を提供する。
 - ・砂防施設等の役目や土石流映像等を含め、参加者へわかりやすい説明を行っている。

<注目ポイント>

- ・砂防を通じた防災学習と観光振興のマッチングによって、防災意識の向上を図ることを目的として、平成30年より実施している。
- ・普段は一般の方が目にするのできない点在する砂防施設、大自然の恵み・土砂災害等の猛威の爪痕などの魅力を線で結び、見て回り触れることでより一層の防災意識の向上（防災意識啓発）および奥飛騨地域の観光振興（防災意識啓発と観光振興のマッチング）を図ることを目的に継続的に実施している。
- ・奥飛騨地域の発展は土砂災害との闘いの歴史と言っても過言では無く、管内には半世紀以上に渡り今なお地域を守り続ける石積みの砂防堰堤や、毎年土石流が発生する溪流において整備が進む鋼製砂防堰堤など、様々な形の砂防堰堤、そして長きにわたる技術の変遷を見て取ることができる。

<実施体制の概要>



【岐阜県高山市】しのぶ砂防堰堤



「人と自然の交流拠点」しのぶ砂防堰堤



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb



「人と自然の交流拠点」
しのぶ砂防堰堤



しのぶ砂防堰堤監査廊 イルミネーション

令和5年 **地域活性化の取組みが「手作り郷土賞」として認定！**

手づくり郷土賞
受賞記念発表会

「手づくり郷土賞」受賞

令和5年11月、一重ヶ根町内会がしのぶ砂防堰堤を中心に進めてきた地域活性化の取組みが、国土交通大臣による『手づくり郷土賞』に認定された。



しのぶ砂防堰堤周辺でのそば祭り



テントサウナで癒しの場の創出



しのぶ砂防堰堤とたるまの滝 ライトアップ



設置したモニュメントで賑わい

<概要>

- 実施主体：奥飛騨温泉郷一重ヶ根町内会
- しのぶ砂防ダム親水公園管理者：高山市
- しのぶ砂防堰堤管理者：国土交通省 神通川水系砂防事務所
- 概要
- 平成11年に「しのぶ砂防堰堤」が竣工したことを契機に、砂防施設を域内に持つ奥飛騨温泉郷一重ヶ根町内会を中心として、砂防施設周辺を地域活性化で利活用する取組みがスタート。
- ◎活動内容
- 砂防堰堤内監査廊のイルミネーション、たるまの滝等のライトアップ、監査廊内でのそばの熟成保存・そば祭りの開催、魚道付近のため池を活用したテントサウナの開催、砂防堰堤周辺の美化活動、安全利用点検等。

【岐阜県高山市】しのぶ砂防堰堤 解説

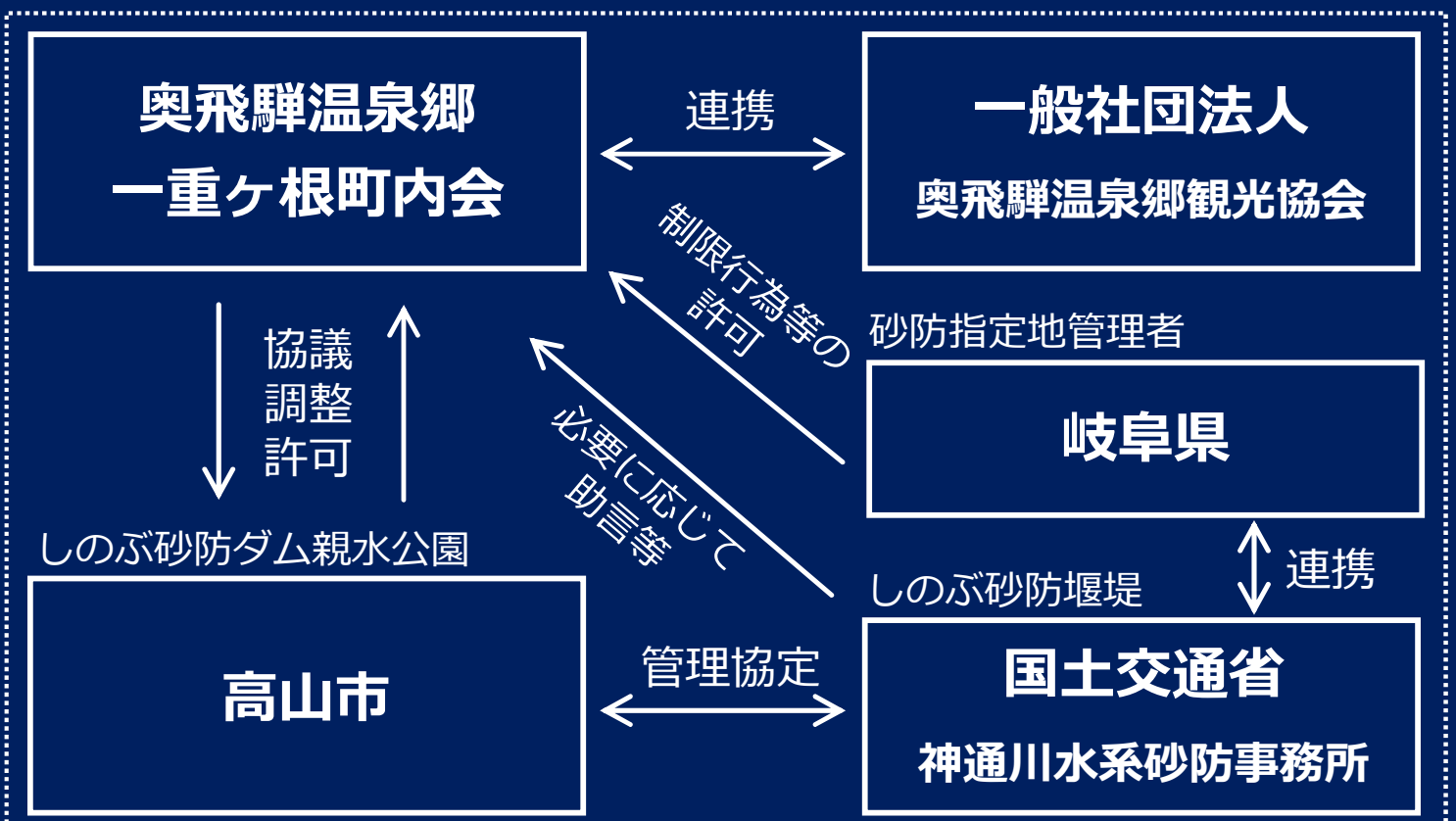
<役割などの解説>

- 奥飛騨温泉郷一重ヶ根町内会（実施主体）
 - ・しのぶ砂防堰堤周辺を含めた地域活性化利活用。
 - ・砂防指定地内行為・占用許可を砂防指定地管理者から取得。
- 高山市、神通川水系砂防事務所（施設管理者）、岐阜県（砂防指定地管理者）
 - ・河川敷におけるイベント開催の許可等。
 - ・砂防指定地管理者として、砂防指定地内の行為制限及び占用等について許可・助言等。
 - ・災害時等における安全管理体制の構築と連携。
 - ・背後地の有効活用による砂防施設のPRと相乗効果による環境整備の向上。

<注目ポイント>

- ・平成11年に「しのぶ砂防堰堤」が竣工したことを契機に、砂防施設周辺を地域活性化で利活用する取り組みを開始。
- ・全国的にも珍しい砂防堰堤に入ることができる施設のため、見るだけでなく癒しを味わう体感・体験を主とした観光を行うことができ、時代のニーズにあわせるとともに、防災意識を向上する効果も期待できる。
- ・春や秋には砂防堰堤監査廊内に熟成保存していた蕎麦の実を使用して「川床そば」としてそば祭りで振る舞ったり、夏期には魚道付近のため池を活用したテントサウナ、冬期には凍てついた「たるまの滝」のライトアップを実施するなど、年間を通して楽しめる様々な体験が、SNS等で広く発信されている。

<実施体制の概要>



【静岡県静岡市】 有東木夢プロジェクト



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb

<概要>

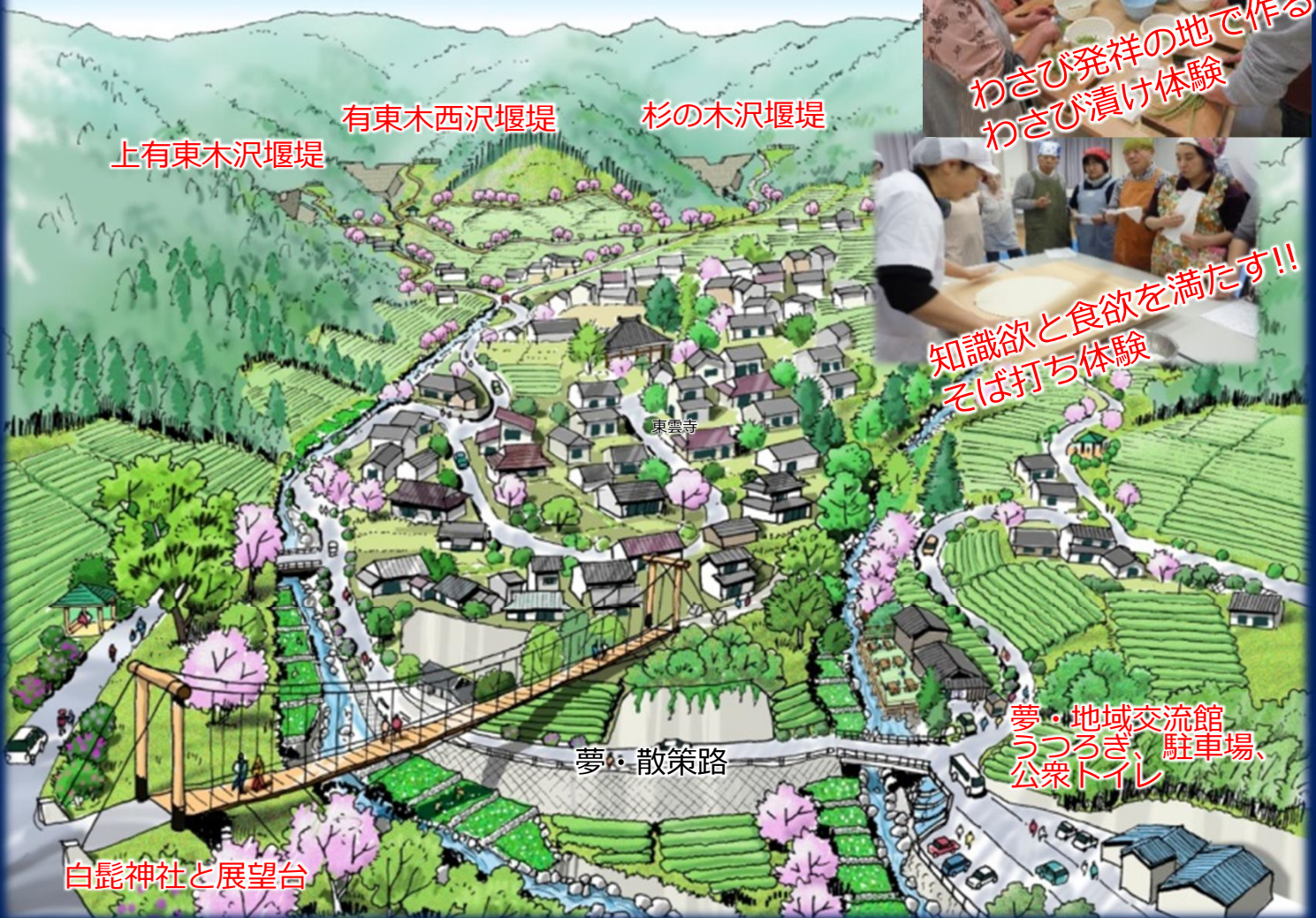
- 実施主体：
地元関係者（自治会、わさび・茶農家等）
- 砂防管理者・事業者：
静岡市
静岡県
国土交通省 静岡河川事務所
- 概要：
ワサビ栽培発祥の地である有東木地区において、砂防事業の着手にあたり地域住民の夢や思いを掘り起こし集約するとともに、砂防事業と地域づくりが一体となるような事業展開を地域と行政が連携して取り組んでいる。



わさび発祥の地で作る!!
わさび漬け体験



知識欲と食欲を満たす!!
そば打ち体験



杉の木沢堰堤



砂防工事の残土を活用して整備した展望台から砂防えん堤工群が一望!!
その横には樹齢700年以上のダイナミックな杉のご神木!!

【静岡県静岡市】 有東木夢プロジェクト 解説

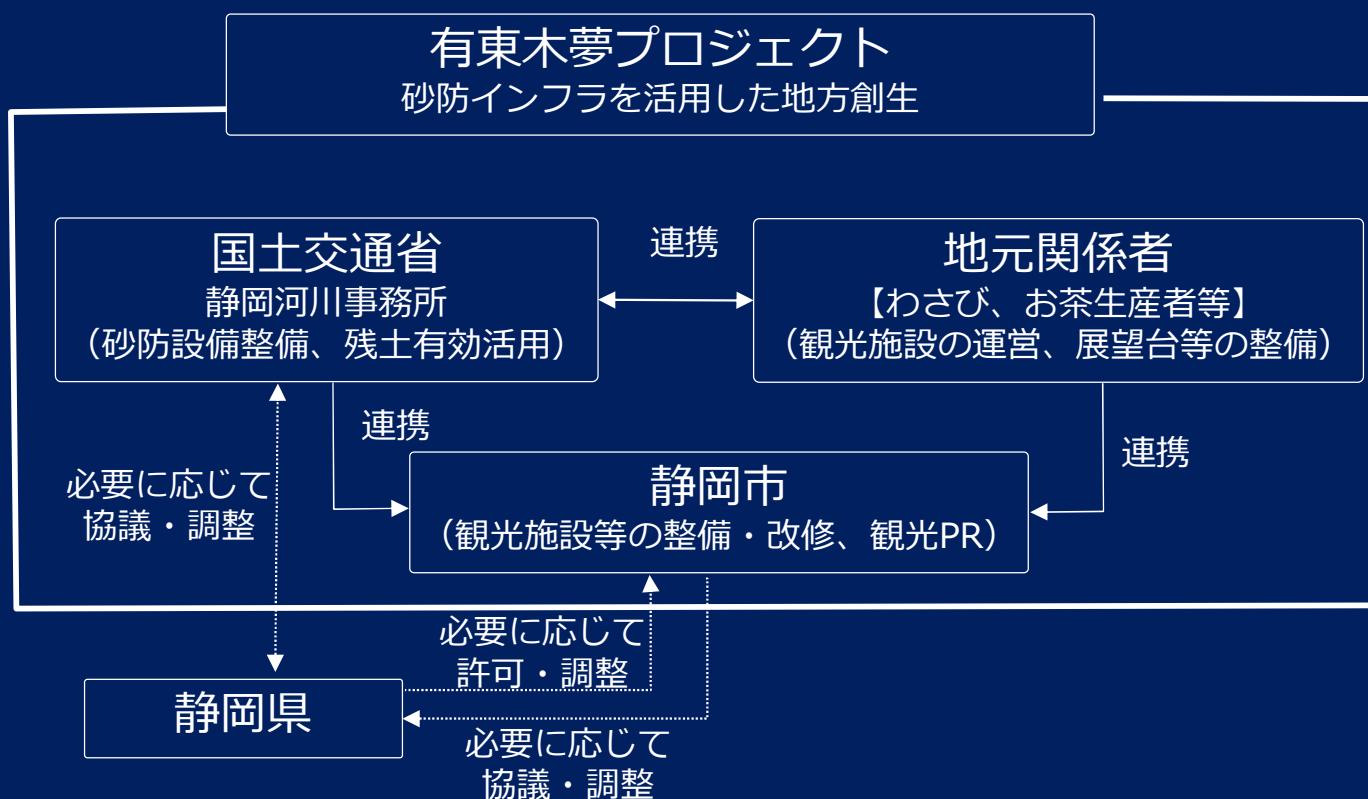
<役割などの解説>

- 地元関係者（自治会、わさび・茶農家等）
 - ・ 観光施設うつろぎの運営（わさび漬け・そば打ち体験、特産品販売など）
 - ・ 展望台の整備
- 静岡市
 - ・ 観光施設や駐車場、トイレなどの整備・改修
 - ・ 交流人口拡大のためのPR
- 静岡県
 - ・ 砂防指定地管理者として、砂防指定地内の制限行為及び占用等について許可・助言等
- 国土交通省静岡河川事務所
 - ・ 砂防えん堤の整備により地域を保全
 - ・ 地元関係者や市が整備する駐車場やトイレ、展望台等の基盤整備に砂防えん堤整備で発生する現場発生土を有効活用
 - ・ 工事用車両通行のため拡幅した既設道路は大型バスも通行可能

<注目ポイント>

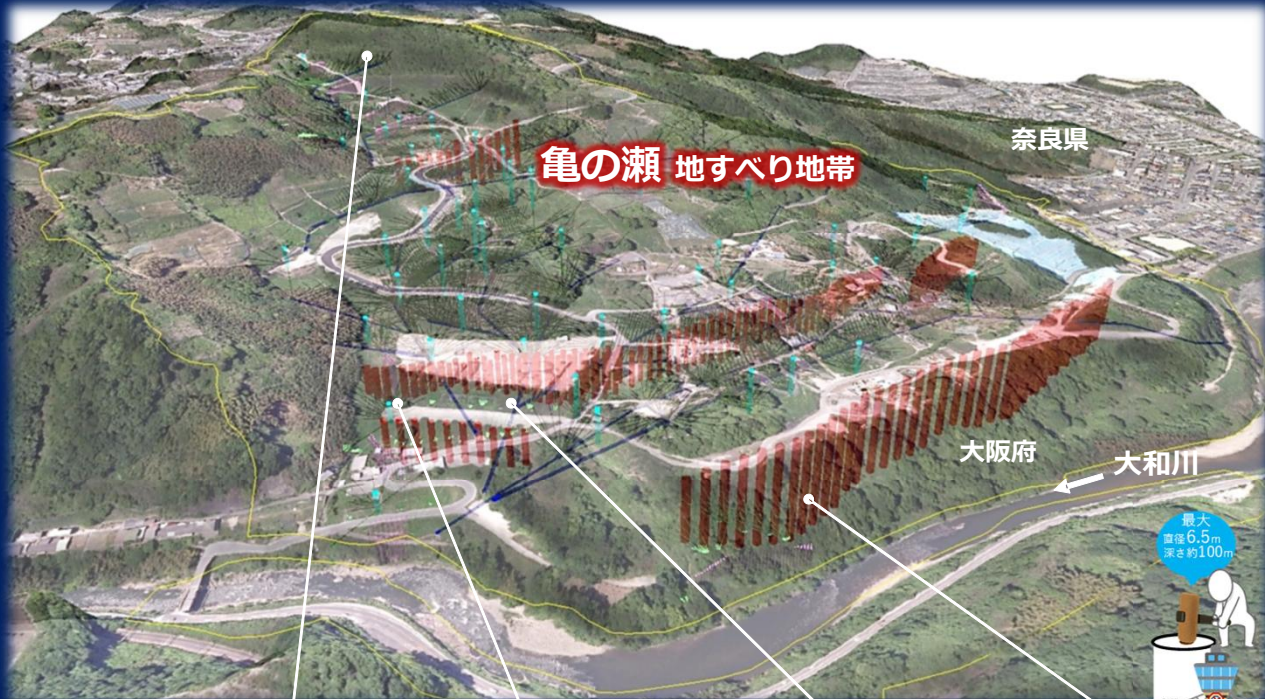
- ・ 地元関係者、市、国交省が連携して、駐車場やトイレ・展望台等を整備するなど、有東木地区を訪れる観光客の利便性向上や地区の魅力向上による地域活性化を図っている。

<実施体制の概要>



【大阪府柏原市】

“日本最大級”地すべり対策インフラツーリズム



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb



亀の瀬インフラ
ツーリズム
ガイドツアー
申し込みサイト



<概要>

- 実施主体 柏原市マイクロツーリズム推進協議会
- 管理者・事業者 国土交通省 大和川河川事務所



●概要

- ・地すべり（移動土塊 約1500万m³）に伴う、大和川閉塞による、浸水被害の発生を防止するため、60年以上直轄事業として地すべり対策事業を実施。
- ・平成28年度以降、亀の瀬地すべり対策工事を紹介するインフラツーリズムの取組を実施し、令和2年には「龍田古道と亀の瀬」が日本遺産として認定、令和5年8月には国土交通本省の「インフラツーリズム魅力増進プロジェクト」のモデル地区に選定。
- ・令和6年3月、更に多くの方々に地すべり対策事業を知っていただくため、新たに亀の瀬地すべり歴史資料室を整備。山の中の地すべり防止施設が理解できるよう展示内容を一新。亀の瀬インフラツーリズムに関して地元民間事業者の団体である柏原市マイクロツーリズム推進協議会と官民連携協定を結び実施体制を構築するなど、亀の瀬地すべりを活用したにぎわいづくりの取組。

●参考URL <https://kamenose-infratourism.jp/>



【大阪府柏原市】

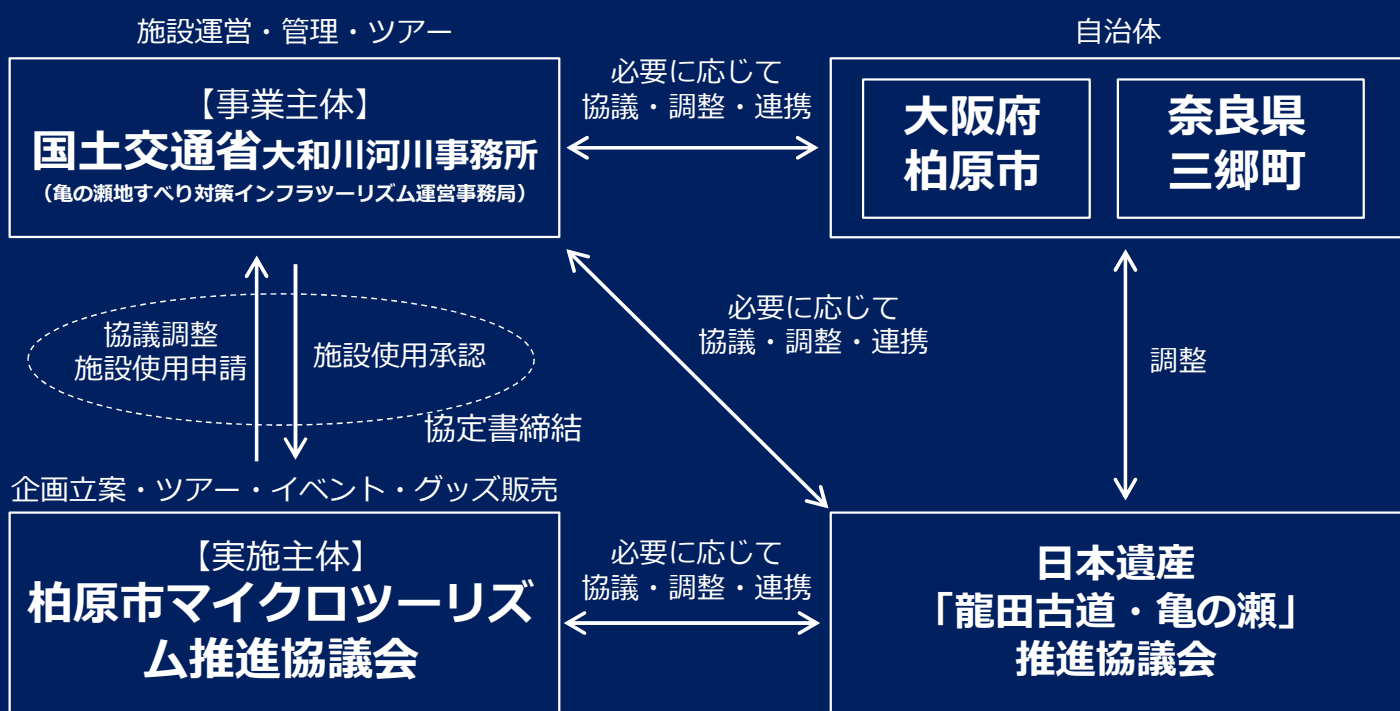
“日本最大級”地すべり対策インフラツーリズム 解説

<役割などの解説>

- 柏原市マイクロツーリズム推進協議会
 - ・ 「亀の瀬地すべり対策インフラツーリズム推進事業に関する協定書」に基づき亀の瀬地すべり歴史資料室における亀の瀬関連の物販、インフラツーリズムのツアー企画、イベント企画等の実施。
- 日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会
 - ・ 亀の瀬を含む龍田古道周辺の範囲内でのイベント企画、ツアー企画等の実施。
 - ・ 関係機関と連携し、情報を発信。
 - ・ 日本遺産ボランティアガイドによる亀の瀬地すべり歴史資料室を含む龍田古道周辺のツアー案内。
<https://kamenose.jp/>
 - ・ 旧大阪鉄道亀瀬隧道でのプロジェクションマッピングの実施。
- 柏原市、三郷町
 - ・ 関係機関と連携し、情報を発信。
 - ・ 日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会の事務局運営を実施。
- 国土交通省（大和川河川事務所）
 - ・ 事業者として、亀の瀬直轄地すべり対策事業の実施と、亀の瀬地すべり歴史資料室の運営。
 - ・ 亀の瀬地すべり対策インフラツーリズムボランティアガイドによる亀の瀬地すべり歴史資料室や排水トンネル等のツアー案内を実施。
<https://kamenose-infratourism.jp/>



<実施体制の概要>



【奈良県宇陀市】 むろう地すべり見楽館 室生山上公園芸術の森



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb



実際の地すべり対策地の上で
見て・学んで・体験！

むろう地すべり見楽館



展示施設を活用して
防災教育や防災啓発に活用

室生山上公園芸術の森



「SNS」で話題！

地すべり防止施設
を活用したアート作品



実物大スケールの
集水井模型の中に入って見学！



<概要>

●実施主体 奈良県（むろう地すべり見楽館）、宇陀市（室生山上公園芸術の森）

●砂防管理者・事業者 奈良県、宇陀市

●概要

- ・室生地区は、約100世帯の民家を含む日本最大級の144.89haの地すべり防止区域であり、地すべり末端部には国宝である室生寺がある。
- ・地すべり対策工事の跡地を利用し、奈良県は「むろう地すべり見楽館」、宇陀市（旧室生村）は「室生山上公園芸術の森」を整備。地域と連携しながら、防災教育・啓発、観光振興に大きく貢献。

【奈良県宇陀市】 むろう地すべり見楽館 室生山上公園芸術の森 解説

<役割などの解説>

- 奈良県
 - ・地すべり防止施設の維持管理
 - ・出前講座の実施
- 宇陀市
 - ・室生山上公園芸術の森の管理・運営
 - ・むろう地すべり見楽館の展示施設の維持管理
 - ・室生山上公園芸術の森、むろう地すべり見楽館におけるイベント企画等の実施、窓口
- 室生自治会
 - ・むろう地すべり見楽館の運営、窓口
 - ・むろう地すべり見楽館周辺の環境保全活動
- 奈良県砂防ボランティア協会
 - ・出前講座の補助

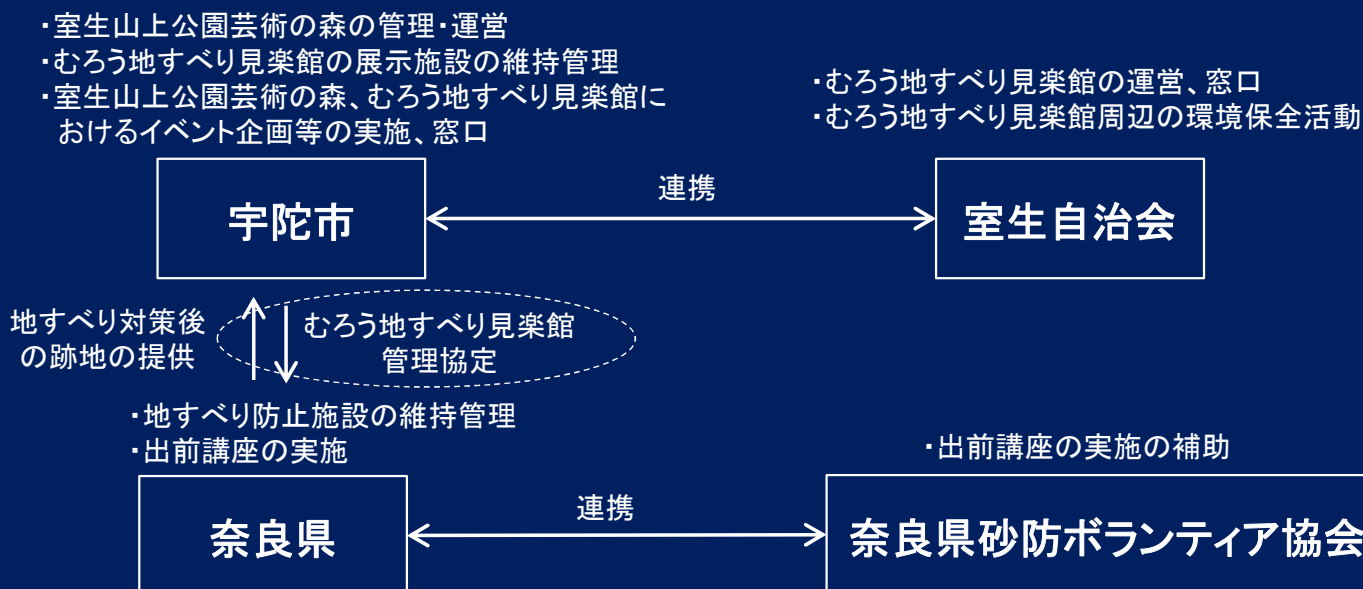


奈良県砂防キャラクター
ヤマトタケル君

<注目ポイント>

- 宇陀市室生の地すべり
 - ・室生地区は、昭和34年伊勢湾台風や昭和57年、平成7年および平成9年などの集中豪雨時に顕著な地すべり滑動が発生。昭和35年から地すべり対策事業を実施し、平成14年度に地すべり滑動は概ね沈静化。
- むろう地すべり見楽館
 - ・むろう地すべり見楽館は、地すべり災害の脅威や地すべり対策事業の必要性、地すべり災害発生時の避難方法について広く周知することを目的として、奈良県が整備を開始し、平成13年に完成。
 - ・全国的に珍しい地すべりに特化した学習施設として防災教育および防災啓発に活用。
 - ・日常的な設備点検や運営、見楽館周辺の草刈りや清掃活動などの環境保全活動は地元の室生自治会が主体となって行っている。令和7年には、こうした継続的な管理運営の功績が評価され、同自治会が土砂災害防止功労者表彰を受賞。
- 室生山上公園芸術の森
 - ・室生山上公園芸術の森は、地すべり対策事業後の用地や対策施設を活用して宇陀市（旧室生村）が、平成9年に国土庁の支援を受け、過疎化対策として「むろうアートアルカディア計画」を策定し、宇陀市出身の彫刻家・井上武吉（1930～1997）の構想を彫刻家ダニ・カラヴァン（1930～2021）によって「公共事業と芸術文化の融合」を掲げ、平成18年に開園。開園後12年間の年間来園者数は横ばいで推移していたが、SNSやテレビでの拡散により、近年6年間では急激に年間来園者数が増加しており、令和6年では過去最高の年間54,757人を記録。

<実施体制の概要>



【高知県仁淀川町】 安居溪谷県立自然公園(仁淀ブルー)



仁淀ブルー観光
協議会Web



ダイナミックSABO
プロジェクトWeb

仁淀川流域で見られる独特の透き通った青色の清流（安居川砂防堰堤）

<概要>

安居溪谷と仁淀ブルー観光ガイド

- 実施主体（ガイド案内）
 - ・仁淀川町の観光を考える会
- 砂防管理者
 - ・高知県
- 概要
 - ・高知県仁淀川町の安居溪谷では、透明度の高い“仁淀ブルー”の清流と、力強い人工構造物である砂防堰堤が織りなすダイナミックで写真映える景観を、溪谷内のそば処や宿泊施設とあわせて楽しむことができる。



ガイドによる説明



安居川 巨石床固め工群



秋には美しい紅葉が楽しめる。

【高知県仁淀川町】 安居渓谷県立自然公園（仁淀ブルー）

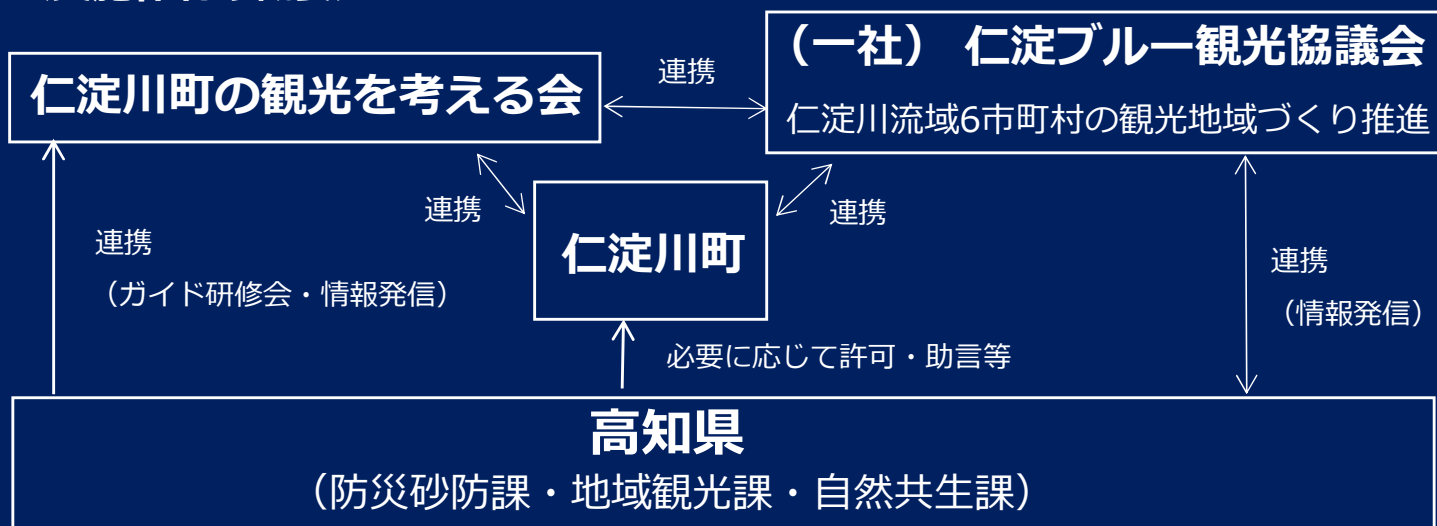
＜役割などの解説＞

- 一般社団法人 仁淀ブルー観光協議会
 - ・高知県の仁淀川流域6市町村（仁淀川町、越知町、佐川町、日高村、いの町、土佐市）を一体の観光エリアとして捉え、観光振興・旅行商品の造成・マーケティング・プロモーション等を総合的に推進している。
 - ・安居渓谷県立自然公園は「にこ淵」「中津渓谷」とともに、仁淀ブルー3大スポットに位置づけられている。
- 仁淀川町の観光を考える会
 - ・水晶淵、飛龍の滝、乙女河原などを巡る安居渓谷ガイドを実施している。
<http://kochikankoguide.jp/guide35.html>
- 砂防管理者（高知県）の役割
 - ・砂防堰堤が間近にありながら風光明媚な景観が楽しめることから、観光シーズンには多くの観光客が訪れている。
 - ・観光客が集まる場所には「景観に配慮した砂防施設（水と緑豊かな溪流砂防事業で整備）」であることや「砂防ダム」であることを明記した案内板を設置し、砂防事業や防災啓発のPRを実施している。安居渓谷への行き方は、仁淀ブルー観光協議会の公式サイトでも紹介されている。
<https://niyodoblue.jp/feature/detail.php?id=7>
 - ・自然公園内の施設であることを踏まえ、今後も景観に配慮した維持管理や施設修繕を行い、当地の観光資源を活かした取り組みを継続的に支援していく。

＜注目ポイント＞

- 安居渓谷県立自然公園
 - ・高知県仁淀川町の北部に位置し、「水質が最も良好な河川」にこれまで何度も選ばれた「奇跡の清流仁淀川」の支流・安居川上流に広がる、延長約10kmの渓谷景観を主体とした自然公園です。
 - ・仁淀ブルースポット随一の透明度と周囲の風光明媚な景観は、フォトスポットとしても人気です。渓谷内には季節や時間帯によって青や緑に色を変える水晶淵をはじめ、力強い景観をつくる砂防堰堤や道路から眺められるみかえりの滝など、見どころが多く点在している。
 - ・秋には紅葉した木々が渓谷内を彩り、多くの観光客で賑わいます。
- 備考
仁淀川町のWEBカメラから、安居渓谷の様子を確認することが可能です。
<https://www.town.niyodogawa.lg.jp/kanko/camera.php>

＜実施体制の概要＞





ダイナミックSABO
プロジェクトWeb



災害遺構で学ぶ

噴火災害遺構の「旧大野木場小学校」



無人化施工で建設された砂防堰堤を見る



災害の教訓を聞く

ジオパーク認定ガイドによる説明

<概要>

- 実施主体
島原半島ジオパーク協議会※
- 関係団体
島原半島観光連盟※
雲仙岳災害記念館（がまだすドーム）

※令和8年4月、「島原半島観光ジオパーク協議会」へ組織統合予定

- 砂防管理者
・長崎河川国道事務所（雲仙砂防管理センター）

- 概要
1990年代の雲仙・普賢岳噴火災害の教訓を後世に伝えるために、防災ジオツアーを実施している。
ジオツアー内容について、調整を行い、普段は立ち入れない砂防指定地内の災害遺構や砂防堰堤などの見学なども実施している。



災害の教訓を学ぶ



火山災害を知る



「NIPPON防災資産」に認定されたがまだすドーム（雲仙岳災害記念館）

【長崎県島原半島（島原市、南島原市、雲仙市）】 水無川流域防災ジオツアー 解説



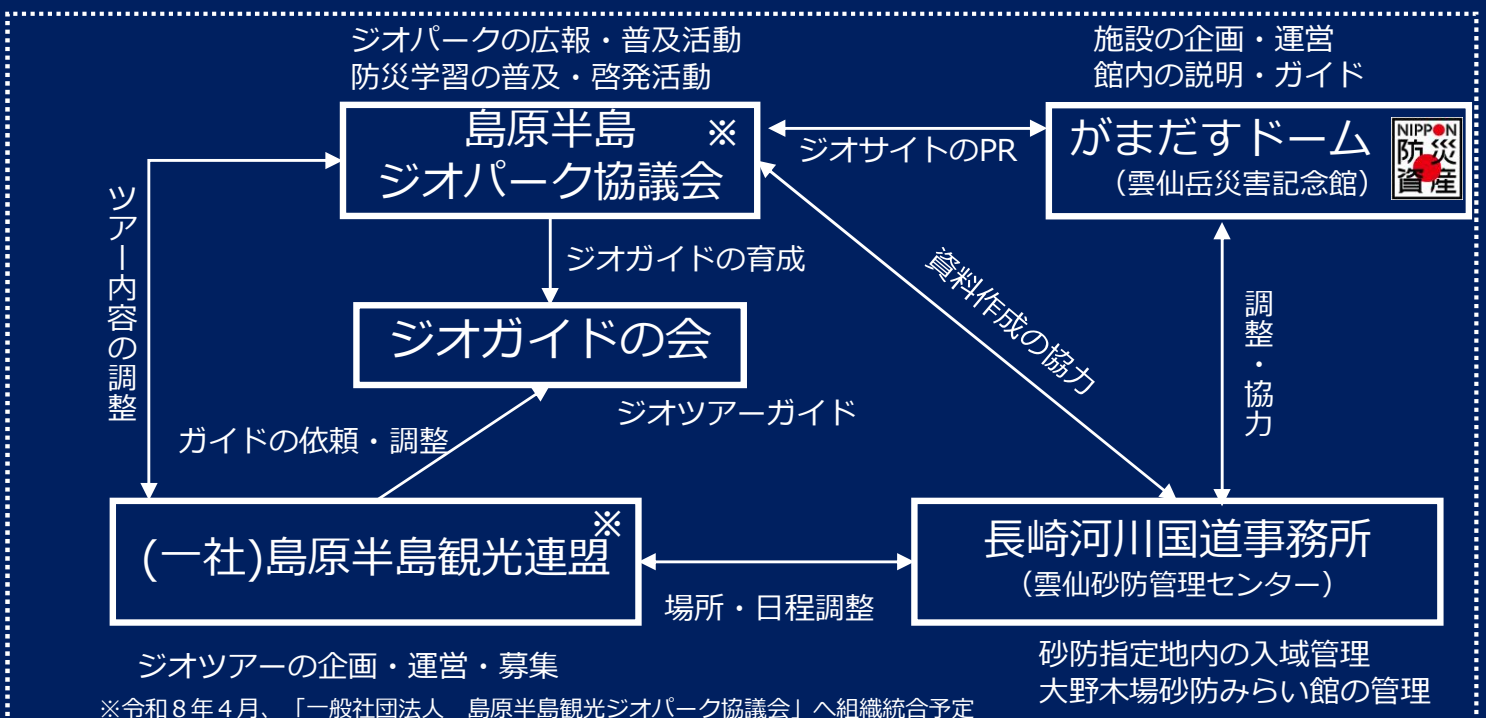
<役割などの解説>

- 島原半島ジオパーク協議会※
日本で初めてユネスコ世界ジオパークに認定された島原半島ジオパーク
島原半島の大地・動植物・歴史・文化・災害を後世に伝えるべく、ジオパークの普及・啓発活動に加え、地域住民向けの教育活動やジオガイドの育成を実施している。
 - 一般社団法人 島原半島観光連盟※
旅行業（第二種旅行業）の資格を有しており、ジオツアーのコーディネーターとして企画、販売、運営までを実施している。
巡る施設、及びそのルートを検討し、関係する砂防施設管理者・事業実施者とジオツアーの行程や見学にあたっての留意事項等について、確認し、必要な調整等を行い、見学ルート、説明内容等を決定する。
- ※令和8年4月、「一般社団法人 島原半島観光ジオパーク協議会」へ組織統合予定
- がまだすドーム（雲仙岳災害記念館）
2002年に「日本初の体験型火山ミュージアム」としてオープン
火砕流や土石流などで地域に甚大な被害を与えた平成の雲仙・普賢岳噴火災害(1990年～1996年)その教訓を正確に後世へ伝えるため、展示物の企画・運営や館内のガイドを実施している。
活火山が生み出すさまざまな火山資源について学ぶことができる学習拠点であり、火山との共生を念頭に置いた地域振興の拠点でもあり、2024年、「**NIPPON防災資産**」に認定された。
 - 長崎河川国道事務所（雲仙砂防管理センター）
砂防指定地内の災害遺構や砂防施設の見学を実施する際の日程調整や入域管理を実施している。
関係者と展示物や説明資料の作成協力など、各種連携を行っている。
噴火災害遺構である旧大野木場小学校に隣接する大野木場砂防みらい館（大野木場監視所）の管理・運営を実施している。

<注目ポイント>

- 関係者が連携し、噴火災害と復興のあゆみを後世に伝えるべく活動を実施中
- 島原半島の豊かな自然環境や文化を持続可能なものにするため関係者が協力

<実施体制の概要>



【熊本県】 くまもとサイエンスカフェ



Event info

令和7年度 くまもとサイエンスカフェ 参加費無料

フィールドワーク

阿蘇カルデラの砂防

～土砂災害から身を守るために～

KUMAMOTO Science Café



熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センターWEB



ダイナミックSABOプロジェクトWeb



上の小屋川2砂防堰堤 (令和5年7月)



数鹿流崩れ (令和7年8月)

くまもとサイエンスカフェとは？

ゆったりとした対話形式で、お茶を飲みながら熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立てていただくことを目的とした取り組みです。

<概要>

- 実施主体
 - ・熊本大学
- 砂防管理者・事業者
 - ・国土交通省 阿蘇砂防事務所
 - ・熊本県

廃校になった地元の小学校を活用



- 概要

地域の自然の成り立ちや人々の暮らしを理解することで、「大雨や地震・火山噴火などのハザードを災害（ディザスター）にしない社会づくり」をコンセプトに、お茶を飲みながらゆったりとした対話形式での情報交換や現場を中心としたフィールドワークから、熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を豊かな暮らしや防災・減災に役立てていただくことを目的としている。

話題提供 国土交通省九州地方整備局 阿蘇砂防事務所

阿蘇カルデラ外輪山は、とても美しい景観を有しています。一方で、平成24年九州北部豪雨などの大雨では土石流が発生し、平成28年熊本地震では斜面崩壊が発生するなど地域に大きな被害をもたらしています。この阿蘇カルデラ外輪山がどのようなものか、現地を歩きながら、地形や地質そして植生を観察し、その成り立ちや土砂災害との関係について学びます。そして、完成した砂防堰堤や数鹿流崩れにおける対策後の斜面の現状などを見学し、土砂災害リスクの高い阿蘇の暮らしについて考えます。

砂防堰堤を間近で見学！



阿蘇のカルデラを一望！



【熊本県】 くまもとサイエンスカフェ 解説

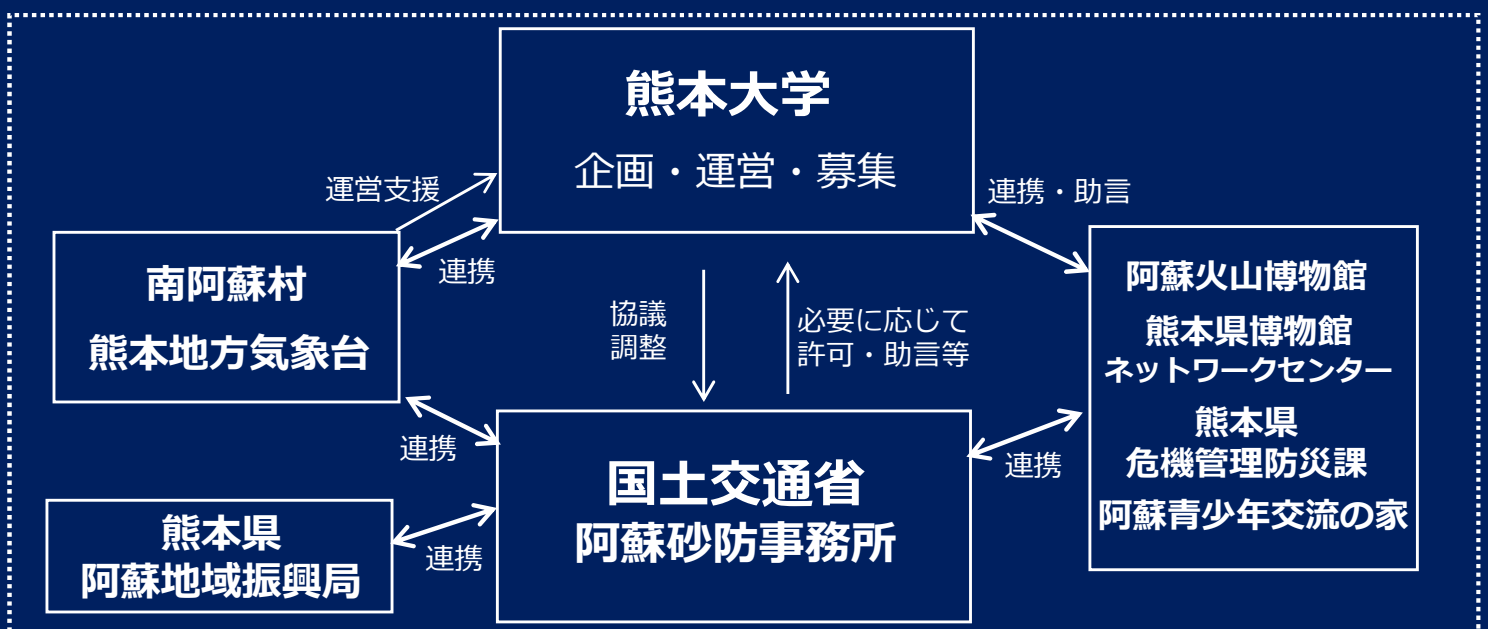
<役割などの解説>

- 熊本大学
 - ・ 企画では、自然と人との関わりに着目し「話題」を設定する。
 - ・ 災害の発生メカニズムや防災・減災手法について、大学による自然科学・工学・社会科学などの学際的な知見と、実際に防災活動を展開する国土交通省をはじめとする各分野の専門事業者との連携に基づき、企画内容を調整する。
 - ・ 募集・会場設営・お茶の準備などを含む運営を担当する。
- 阿蘇砂防事務所
 - ・ 企画段階より、話題内容、見学内容を大学と調整する。
 - ・ 現地見学にあたっては、ルート設定や安全確保などの留意事項等について、協議する。
 - ・ 阿蘇での砂防事業の目的や背景、工事の概要などの説明・解説を行う。
- 南阿蘇村・熊本地方気象台
 - ・ 南阿蘇村は旧立野小学校を会場として提供。熊本地方気象台は運営を支援する。
- 阿蘇火山博物館・熊本県博物館ネットワークセンター・熊本県危機管理防災課・阿蘇青少年交流の家
 - ・ 広報協力および実施内容についての助言を行う。

<注目ポイント>

- ・ 現場見学では、砂防堰堤の概要の説明に加え、阿蘇地域の地形の成り立ち、自然環境、砂防堰堤の特徴、施工時の工夫、景観への配慮などについて解説を行っている。
- ・ 植生、地質、土木工学等幅広い分野での大学教員から専門的な解説を聞くことができる。
- ・ 地元のジオガイドの方々が多数参加しており、既に豊富な知識を持つ方も多く、活発な意見交換の場となっている。サイエンスカフェでの内容は、ガイドの方々の「持ちネタ」として活用されることで、防災活動や関連事業がより効率的かつ広く社会に認知されることが期待される。

<実施体制の概要>



【鹿児島県鹿児島市】

桜島有村観測坑道貯蔵焼酎実証実験



全国初！
観測坑道に本格焼酎を貯蔵する実証実験！

ダイナミックSABOプロジェクトWeb↑

1年を通じて温度、湿度が安定！
本格焼酎にとって良い環境！



有村観測坑道局舎（国）



有村観測坑道内部（国）

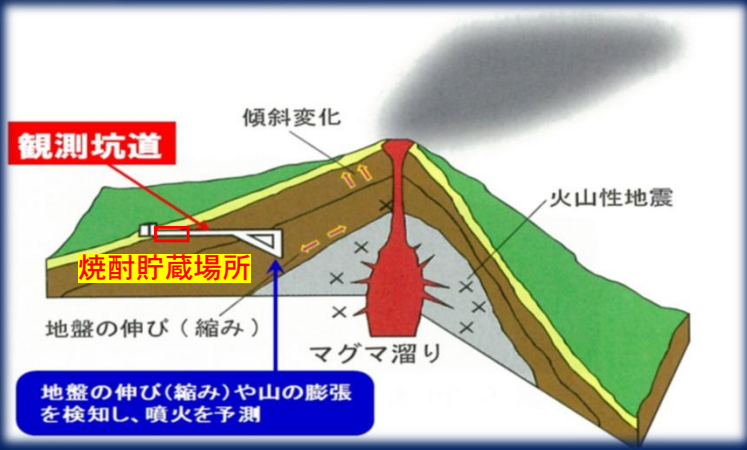
<概要>

- 実施主体；
 - ・鹿児島大学
 - ・鹿児島県酒造組合（参加蔵元13社）

- 砂防管理者・事業者；
 - ・鹿児島県
 - ・国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

●概要；

- ・有村観測坑道は、桜島のマグマの上昇による火山性地震や山体の膨張（地殻変動）等の火山活動を監視し、砂防工事従事者等の安全確保を行うことを目的に設置。（有村観測坑道は一般公開は行っていない。）
- ・鹿児島県酒造組合、鹿児島大学、大隅河川国道事務所、鹿児島県の4者が連携し、参加蔵元の協力を得て、本格焼酎を貯蔵して酒質の変化を確認する実証実験を試行。
- ・実証実験期間は、令和6年11月～令和9年11月とし、1年毎に新たな焼酎を貯蔵。
- ・貯蔵焼酎は、酒造組合が参加蔵元と連携して桜島のイメージアップや砂防事業への理解促進に資するイベント等で活用・提供。



焼酎貯蔵箇所（イメージ図）

イベント等に職員が協力！
砂防事業をPR！



【鹿児島県鹿児島市】

桜島有村観測坑道貯蔵焼酎実証実験 解説

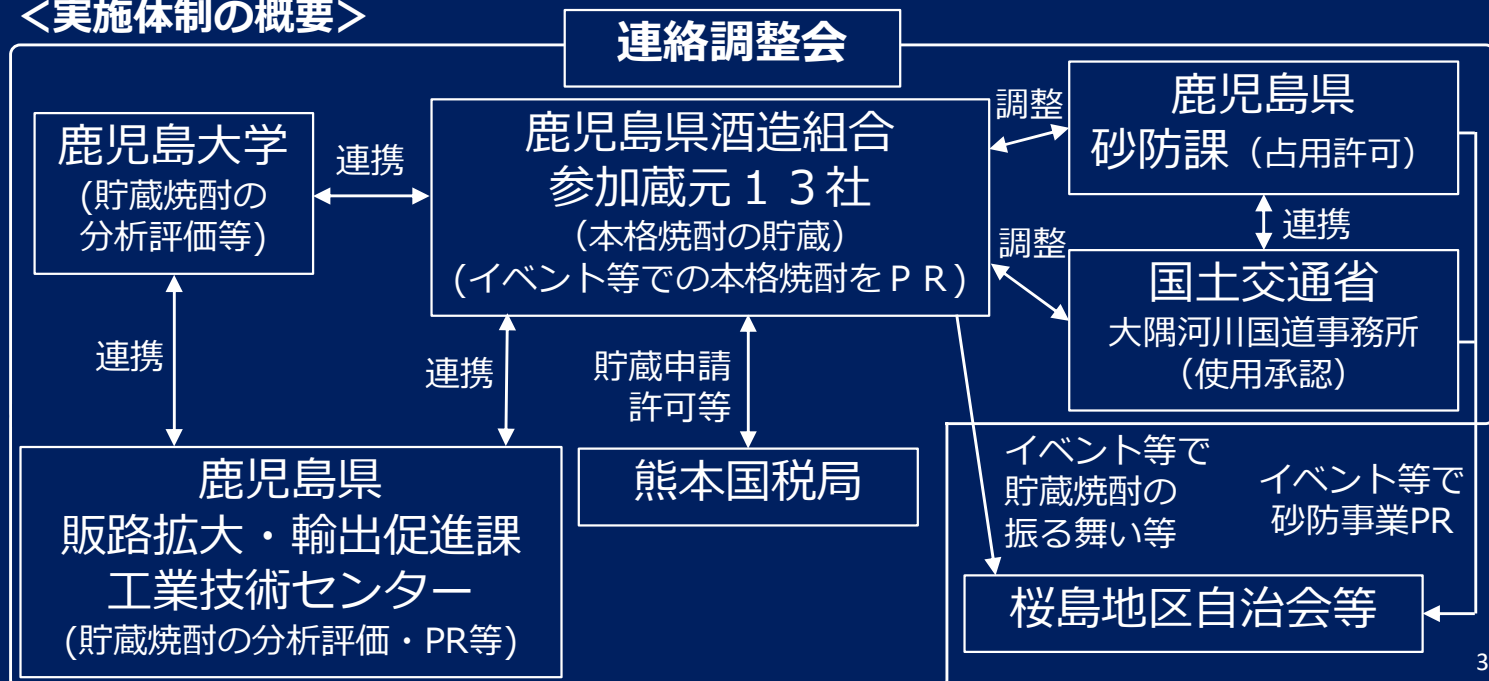
<役割などの解説>

- 鹿児島大学（実施主体）
 - ・国土交通省に観測坑道の使用承認申請を、鹿児島県に砂防設備等占用許可申請を行う。
 - ・鹿児島県工業技術センターと連携して酒質の変化を確認する。
- 鹿児島県酒造組合（実施主体）
 - ・有村観測坑道の通路を活用し、参加蔵元が本格焼酎を貯蔵する。
 - ・なお、本格焼酎の貯蔵作業は、観測坑道の点検（1 1月頃）にあわせ行うこととし、具体的な日時等は、国土交通省が観測坑道の点検業者と調整の上決定する。
 - ・県酒造組合は貯蔵した本格焼酎を参加蔵元と連携して桜島のイメージアップや砂防事業への理解促進に資するイベント等で活用・提供する。
- 鹿児島県（砂防指定地管理者・実施協力）
 - ・砂防指定地管理者として占用許可の手続きを実施する。
 - ・イベント等での砂防事業への理解促進のPR、販路拡大等に係る助言、工業技術センターによる酒質の変化の確認等を実施する。
- 国土交通省（大隅河川国道事務所）（砂防設備管理者・実施協力）
 - ・砂防設備管理者として使用承認の手続きを実施する。
 - ・イベント等で砂防事業への理解促進のPRを実施する。
- 連絡調整会
 - ・鹿児島大学、県酒造組合・参加蔵元、鹿児島県、国土交通省は毎年度の事業計画や官能評価分析による風味の評価結果などを確認するため年に1回程度、関係機関が集まる連絡調整会を開催し、情報共有を行う。

<注目ポイント>

- ・本格焼酎は鹿児島県の特産品であり、蔵元数が全国で最も多く生産が盛んである。焼酎や日本酒などの日本の「伝統的醸造」がユネスコ無形文化遺産に登録される見通しとなり、鹿児島県内でも期待が高まっているところである。
- ・鹿児島を代表する本格焼酎を国の観測坑道に貯蔵し、酒質の変化を確認するとともに、その貯蔵焼酎の酒質の変化について、多くの方に広めることにより砂防事業への理解促進を図るとともに、本格焼酎の振興が鹿児島の活性化や「稼ぐ力」の向上に繋げていく。
- ・観測坑道に貯蔵する本格焼酎（芋）は、初年度は参加蔵元毎に1升瓶を各2 4本（1 3蔵元で3 1 2本）をP箱にて貯蔵している。

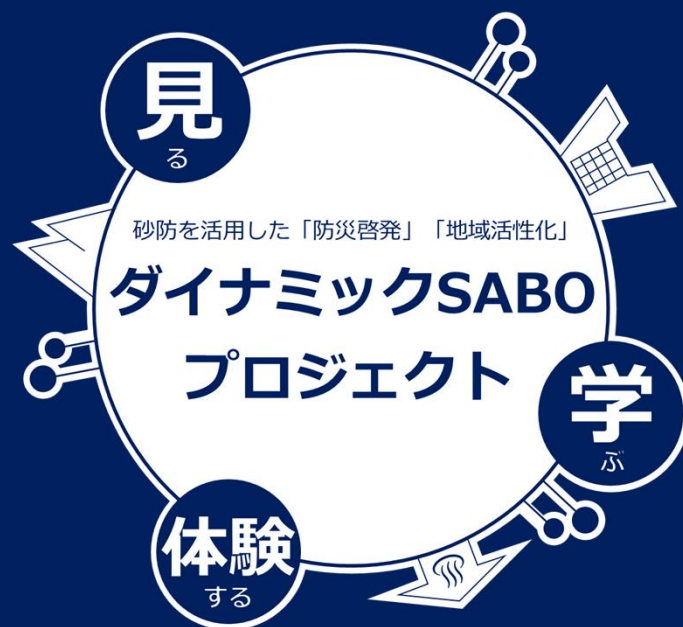
<実施体制の概要>





ダイナミックSABOプロジェクトWeb

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/dynamic_sabo.html



ダイナミックSABOプロジェクト支援チーム事務局
(国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部)



2026.3作成